

リファレンス

Novell. ZENworks® 10 Patch Management SP3

10.3

2010年3月30日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の締結に基づいて提供されるすべての製品または技術情報には、米国の輸出管理規定およびその他の国の貿易関連法規が適用されます。お客様は、すべての輸出規制を遵守し、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出に関する詳細については、[Novell International Trade Services の Web ページ \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) を参照してください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2007-2010 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複製転載することは、その形態を問わず禁じます。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell マニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation/) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	7
1 ZENworks 10 Patch Management の概要	9
1.1 パッチのダウンロード	9
1.2 パッチの展開	9
1.3 ベースラインの設定	10
1.4 ダッシュボード	10
1.5 パッチダウンロードステータス	11
2 パッチ管理の概要	13
2.1 製品の概要	13
2.2 パッチ管理プロセス	14
2.3 パッチ管理の機能	15
3 パッチ管理の使用	17
3.1 サブスクリプションサービス情報の表示	17
3.2 HTTP プロキシ詳細の設定	20
3.3 サブスクリプションダウンロード詳細の設定	22
3.4 強制的なベースライン設定の設定	25
3.5 パッチ管理のライセンス	27
4 [パッチ管理] タブの使用	31
4.1 パッチの表示	31
4.2 ダッシュボード	32
4.3 ステータス	34
4.3.1 ステータス	35
4.3.2 キャッシュステータス	35
4.4 [パッチ] ページの使用	35
4.4.1 パッチ	36
4.4.2 パッチ情報	43
4.4.3 パッチの検索	44
4.4.4 パッチ管理	45
4.5 パッチ管理 BOE レポート	47
5 改善の展開ウィザードの使用	49
5.1 展開スケジュールの作成	49
5.2 デバイスの確認	50
5.2.1 デバイスの確認:すべてのパッチ未適用デバイス	51
5.2.2 デバイスの確認:当てはまるデバイスを選択します	51
5.2.3 デバイスの確認:指定した、デバイス、フォルダ、グループに展開	52
5.3 使用許諾契約	53
5.4 改善スケジュール	54
5.4.1 修正スケジュール:今すぐ	55
5.4.2 展開スケジュール:日付特有	55

5.4.3	改善スケジュール: 繰り返し	57
5.5	展開順序および動作	61
5.6	改善オプション	62
5.7	詳細修正オプション	63
5.8	インストール前の通知オプション	65
5.9	通知および再起動オプション	67
5.10	展開概要	69
6	強制的なベースラインの使用	71
6.1	強制的なベースラインについて	71
6.1.1	強制的なベースラインの表示	71
6.1.2	[強制的なベースライン] ページの使用	74
6.2	強制的なベースラインの使用	75
6.2.1	強制的なベースラインの割り当てまたは管理	76
6.2.2	強制的なベースラインの削除	78
6.2.3	[更新キャッシュ] の使用	79
7	デバイスのパッチ管理	81
7.1	デバイスの [パッチ] タブへのアクセス	81
7.2	デバイスの [パッチ] タブの使用	84
7.2.1	パッチ	84
7.2.2	パッチ名	84
7.2.3	利用可能なパッチの合計数	85
7.2.4	パッチの影響	85
7.2.5	パッチの統計情報	86
7.2.6	[アクション] メニュー項目	86
7.2.7	パッチの検索	87
7.2.8	パッチ情報	89
7.2.9	ワークステーションデバイスのパッチ	90
8	デバイスグループのパッチ管理	93
8.1	サーバグループ内での [パッチ] タブの使用	93
8.2	ワークステーショングループ内での [パッチ] タブの使用	95
A	パッチ管理のトラブルシューティング	99
A.1	パッチ管理の問題	99
A.2	設定の問題	103
B	マニュアルの更新	105
B.1	2010年3月30日: SP3 (10.3)	105

このガイドについて

この『Patch Management リファレンス』には、Novell® ZENworks® 10 Patch Management システムを正しくインストールするために役立つ情報が記載されています。このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 9 ページの第 1 章「ZENworks 10 Patch Management の概要」
- ◆ 13 ページの第 2 章「パッチ管理の概要」
- ◆ 17 ページの第 3 章「パッチ管理の使用」
- ◆ 31 ページの第 4 章「[パッチ管理] タブの使用」
- ◆ 49 ページの第 5 章「改善の展開ウィザードの使用」
- ◆ 71 ページの第 6 章「強制的なベースラインの使用」
- ◆ 81 ページの第 7 章「デバイスのパッチ管理」
- ◆ 93 ページの第 8 章「デバイスグループのパッチ管理」
- ◆ 99 ページの付録 A「パッチ管理のトラブルシューティング」
- ◆ 105 ページの付録 B「マニュアルの更新」

対象読者

このガイドは、ZENworks 管理者を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

追加のマニュアル

ZENworks 10 Configuration Management には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。ZENworks 10 Configuration Management SP3 マニュアル Web サイト (<http://www.novell.com/documentation/beta/zcm10>) を参照してください。

マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (\\) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux* など、スラッシュを使用するプラットフォームの場合は、必要に応じて円記号をスラッシュに置き換えてください。

ZENworks 10 Patch Management の概要

1

パッチ管理は Novell® ZENworks® 10 に完全に統合された機能で、旧バージョンと同様に、パッチ、脆弱性パッチ、およびコンプライアンスを管理するためのエージェントベースのソリューションを提供します。

ZENworks サーバは、すべての ZENworks 管理対象デバイス (サーバとワークステーション) に対して Discover Applicable Updates (DAU) タスクをスケジュールし、オペレーティングシステム、ハードウェア、およびソフトウェアに関する情報をまとめます。

スキャン結果は ZENworks サーバに送信され、ワークステーションがネットワークに接続されていなくとも、[パッチ管理] タブまたは [デバイス] タブの [パッチ] セクションでいつでも表示できます。

上記の情報に基づいて、パッチがそれぞれのデバイスに適用可能かどうか判断されます。該当する場合は、ZENworks Adaptive Agent は各パッチに組み込まれているパッチフィンガープリントを使用してもう一度スキャンを実行し、そのパッチに関連するデバイスのパッチステータス (「パッチ適用済み」または「パッチ未適用」) を判断します。スキャン結果は ZENworks コントロールセンターの [パッチ管理] タブに表示され、管理者が確認できます。

パッチステータスが設定されたら、ZENworks 管理者はネットワーク上で該当する各デバイスに目的のパッチを展開できます。

ZENworks 10 Patch Management SP3 には、次の機能が搭載されています。

- ◆ [9 ページのセクション 1.1 「パッチのダウンロード」](#)
- ◆ [9 ページのセクション 1.2 「パッチの展開」](#)
- ◆ [10 ページのセクション 1.3 「ベースラインの設定」](#)
- ◆ [10 ページのセクション 1.4 「ダッシュボード」](#)
- ◆ [11 ページのセクション 1.5 「パッチダウンロードステータス」](#)

1.1 パッチのダウンロード

パッチのダウンロードを開始する前に、「[環境設定](#)」タブでダウンロードオプションを設定します。詳細については、[22 ページのセクション 3.3 「サブスクリプションダウンロード詳細の設定」](#)を参照してください。

1.2 パッチの展開

パッチを展開するには、改善の展開ウィザードを使用します。詳細については、[49 ページの第 5 章 「改善の展開ウィザードの使用」](#)を参照してください。

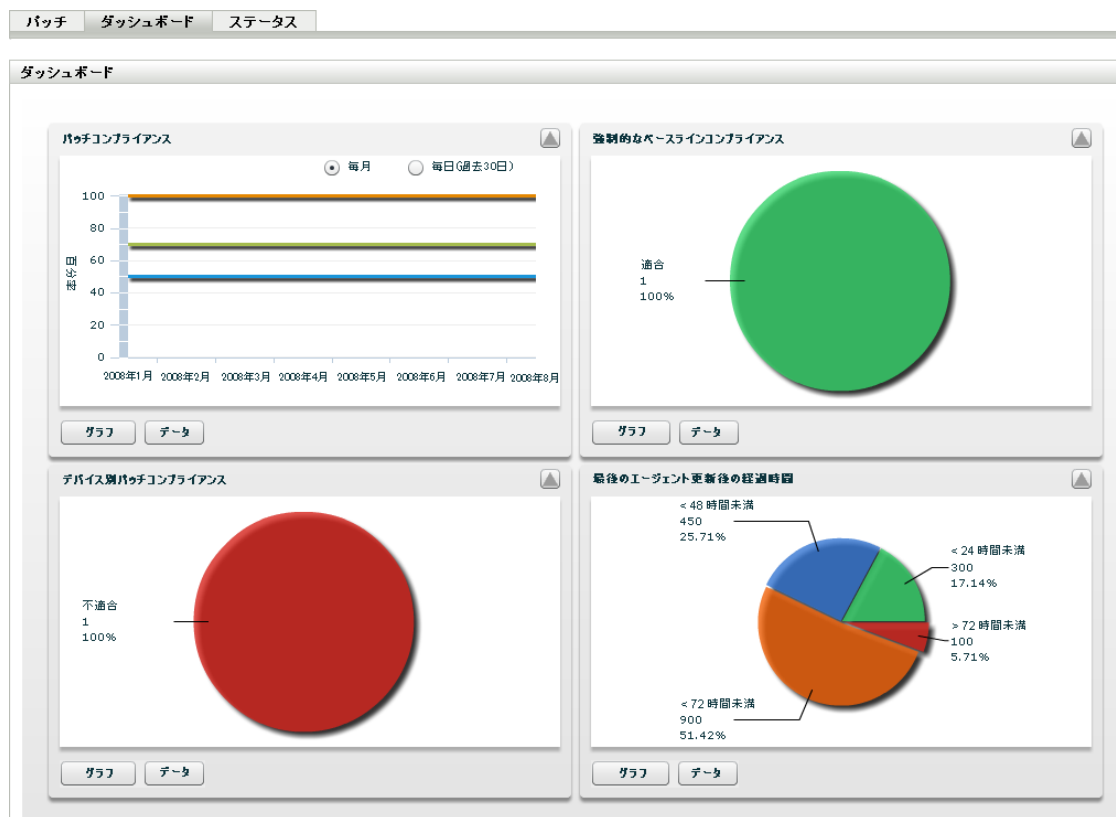
1.3 ベースラインの設定

ベースラインを設定するには、デバイスグループを確実に保護し、グループ内のすべてのデバイスに一貫して確実にパッチが適用されるようにする必要があります。詳細については、71 ページの第 6 章「強制的なベースラインの使用」を参照してください。

1.4 ダッシュボード

[ダッシュボード] タブには、ユーザがネットワーク内のデバイスの全般的な状態がグラフで表示されます。詳細については、32 ページのセクション 4.2「ダッシュボード」を参照してください。

図 1-1 [ダッシュボード] ページ



1.5 パッチダウンロードステータス

[ステータス] ページには、システムとキャッシュのステータスがあり、パッチ情報全般を示しています。詳細については、34 ページのセクション 4.3 「ステータス」を参照してください。

図 1-2 [ステータス] ページ

パッチ ダッシュボード ステータス		
ステータス		
名前	ステータス	
署名のダウンロード	完了	
署名の最終ダウンロード時刻	Apr/20/2010 00:00:02	
バンドルダウンロード	実行中	
パッチの最終ダウンロード	Apr/20/2010 10:47:34	
失敗したダウンロード数	3	
キャッシュにキューイングされたパッチ数	8	
アクティブなパッチの数	2361	
新規パッチ数(30日以内)	212	
最新パッチのリリース日	Apr/16/2010 00:00:00	
キャッシュステータス		
名前	ステータス ▲ エラー詳細(存在する場合)	
Adobe Reader (Chinese-CHS) 9.1 for Windows (Full/Upgrade)	キューに入りました	
Adobe Reader (Chinese-CHS) 9.0 for Windows (Full/Upgrade)	キューに入りました	
Adobe Reader (Chinese-CHS) 8.1.3 for Windows (Rev 2)	キューに入りました	
Adobe Reader (Chinese-CHS) 8.2 for Windows (Full/Upgrade)	キューに入りました	
Adobe APS809-15 Adobe Reader (German) 9.2 for Windows (Full Installer)	キューに入りました	
Adobe Acrobat (German) Reader 8.1	キューに入りました	
Adobe Acrobat (German) Reader 7.0.9	キューに入りました	
Adobe APS809-15 Adobe Reader (Chinese-CHS) 9.2 for Windows (Full Installer)	キャッシング	
MS10-018 Cumulative Security Update for Internet Explorer 8 for Windows Server 2008 (KB980182)	失敗	1つ以上のパッケージのダウンロードに失敗しました
MS10-023 Security Update for Microsoft Publisher 2002 (KB980466)	失敗	1つ以上のパッケージのダウンロードに失敗しました
1 - 10/11		
		10 ▼ 項目の表示

パッチ管理の概要

Novell® ZENworks® 10 Patch Management は、優れたパッチの完全統合バージョンおよび中規模および大規模企業ネットワーク向けのパッチ管理ソリューションを提供する ZENworks 10 製品ラインの一部です。Patch Management を使用すると、顧客は組織のセキュリティパッチポリシーを自動化された継続的な保護対策として容易に実装することができます。今日の企業ネットワークにとって脅威とされる脆弱性の 90% 以上を保護できます。Patch Management は、最も正確でタイムリーな脆弱性評価およびパッチ管理を提供することで、ポリシー測定とセキュリティ監査によってネットワークセキュリティの状況を正確に把握することができます。

- [13 ページのセクション 2.1 「製品の概要」](#)
- [14 ページのセクション 2.2 「パッチ管理プロセス」](#)
- [15 ページのセクション 2.3 「パッチ管理の機能」](#)

2.1 製品の概要

パッチ管理は環境設定管理スイートに完全統合された機能で、ZENworks Patch Management 6.4 など、以前のスタンドアロンバージョンで使用されていたものと同じ、エージェントベースのパッチ、脆弱性パッチ、コンプライアンス管理ソリューションを提供します。

パッチ管理は、高速パッチ修正機能を備えており、異機種混在型の企業全体でパッチの収集、分析、および配信を自動化してエンドポイントのセキュリティを確保することによって未然に脅威を管理できます。

ZENworks サーバには、ZENworks コントロールセンターと呼ばれる Web ベースの管理ユーザインタフェースが備わっています。パッチ管理の機能で、パッチコンプライアンスを企業全体で監視し、維持できます。ZENworks 10 Configuration Management プライマリサーバは、ZENworks Adaptive Agent をターゲットネットワーク内のすべてのクライアントシステムに展開することができ、すべてのシステムを最新のセキュリティパッチ、ソフトウェアアップデート、およびサービスパックで確実に保護することができます。

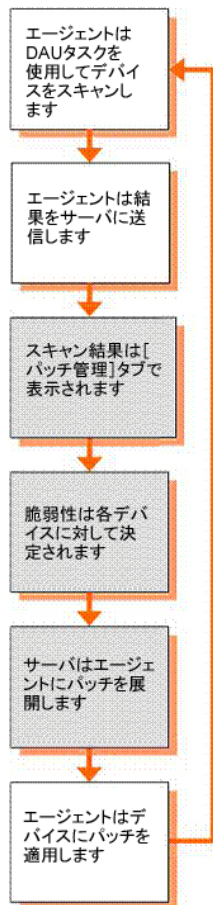
パッチ管理機能は、ZENworks Patch Subscription Network とセキュアな接続で定期的に通信することにより、常に最新のパッチと修復プログラムが適用された最新の状態に保たれます。最初の 60 日間の無料評価期間が過ぎた後、パッチ管理機能の最新のパッチおよび脆弱性情報を引き続き毎日ダウンロードするには、有料のサブスクリプションが必要です。

新しいパッチが ZENworks Patch Subscription Network にリリースされると、自動的に ZENworks サーバにダウンロードされ、管理者に電子メールが送信されます。管理者は、ZENworks コントロールセンターにログインすると、デバイスのリストおよび展開が必要な新しいパッチ、その説明と業務への影響の概要を簡単に確認できます。この時点で、管理者はパッチをデバイスに展開するか、パッチを無視するかを選択できます。

2.2 パッチ管理プロセス

次のプロセスマップは、ZENworks サーバと ZENworks Adaptive Agent の間でパッチ情報がどのように伝えられるかを示しています。

図 2-1 プロセスマップ



パッチ検出サイクルは、Discover Applicable Update(DAU) タスクがすべての ZENworks 管理対象デバイス (サーバとワークステーション) にスケジュールされている ZENworks サーバで毎日開始します。

DAU タスクでのすべてのパッチについて、ZENworks Adaptive Agent は、それぞれの個別パッチに組み込まれたパッチフィンガープリントを使用してパッチ検出を実行します。これにより、そのパッチのステータス (パッチ適用済み、パッチ未適用、適用なし) を判定します。

パッチ検出結果は ZENworks サーバに送信され、ワークステーションがネットワークに接続されていなくとも、[パッチ管理] タブまたは [デバイス] タブの [パッチ] セクションでいつでも表示できます。

パッチ検出サイクルの完了後、ZENworks 管理者は目的のパッチをネットワーク上の該当するデバイスに展開できます。

2.3 パッチ管理の機能

パッチ管理には世界最大級の自動化パッチのリポジトリがあり、すべての主要オペレーティングシステムおよびさまざまなサードパーティアプリケーション向けのパッチを含んでいます。パッチ管理の特徴は、エージェントベースのアーキテクチャ、パッチパッケージの事前テスト、拡張性の高いソフトウェア、および使いやすい機能で、顧客は業界平均より 13 倍も高速にパッチを適用できます。

特許取得済みの Digital Fingerprinting Technology は、パッチと脆弱性の評価、修復、および監視のための非常に正確なプロセスを提供し、すべてのシステムを攻撃から保護します。修正は、ウィザードベースのパッチ展開、段階的ロールアウトのサポート、パッチインストーラの高速な検証などにより、高速で正確です。パッチ管理は常にエンドポイントを監視して、迅速にパッチコンプライアンスを達成し、継続してパッチが適用されるようにします。

Patch Management を使用すると、システムに効果的にパッチを適用し、システムが IT および規定の監査に正常に準拠するようになります。パッチ管理は、特定のコンピュータに適用されていないパッチすべてが含まれたパッチフィンガープリントプロファイルを作成し、各エンドポイントの継続的なコンプライアンスを実現します。各エンドポイントは継続的に監視され、パッチが適用された状態に保たれます。管理者は強制的なベースラインを設定して、定義済みパッチレベルを満たさないエンドポイントを自動的に修復することもできます。これは規制へのコンプライアンスの重要な要素です。また、多くの組織はパッチへのコンプライアンスを証明する必要があるため、パッチ管理には、変更内容を文書化し、内外の監査とコンプライアンス要件に対する進行状況を示す標準的なレポートが含まれます。

次の表は、パッチ管理の重要な機能について示しています。

表 2-1 パッチ管理の機能

機能	説明
特許取得済みのマルチプラットフォームパッチ管理	Windows* (32 ビットおよび 64 ビット) や Linux 配布パッケージで構成される異機種混在ネットワークにおいて、すべてのオペレーティングシステムとアプリケーションのセキュリティを実現します。米国特許番号 #6999660。
世界最大の自動化パッチリポジトリ	テスト済みパッチの最大リポジトリを備えており、企業で使用されるすべての主要オペレーティングシステムとアプリケーションをサポートします。
広範な事前テスト	パッチ展開前に必要な開発およびテストの時間を短縮します。
エージェントベースのアーキテクチャ	頻繁にネットワークから接続解除されるラップトップやモバイルデバイスを保護し、ネットワーク帯域幅の使用率を削減します。
自動通知	管理者が予防的にセキュリティ保護および管理を行えるように、電子メールアラートを管理者に直接配信します。
パッチフィンガープリント精度	セキュリティパッチの検出において最高レベルの精度を保証します。

機能	説明
複数パッチ展開	複数パッチを一度の配布で複数のコンピュータに配布し、IT 生産性を高めます。
フレキシブルなアプリケーションレポート	組織のセキュリティステータスを監査し、レポートを生成します。
ポリシーベースの管理	すべてのシステムが強制的なベースラインポリシーに確実に一致するようにします。これは規制へのコンプライアンスの重要な要素です。

パッチ管理の使用

Novell® ZENworks® 10 Patch Management は、サブスクリプションステータスに関する最新情報を提供し、サブスクリプションをアクティブ化して設定できるようにします。

次のセクションでは、パッチ管理の機能について詳しく説明します。

- ◆ 17 ページのセクション 3.1 「サブスクリプションサービス情報の表示」
- ◆ 20 ページのセクション 3.2 「HTTP プロキシ詳細の設定」
- ◆ 22 ページのセクション 3.3 「サブスクリプションダウンロード詳細の設定」
- ◆ 25 ページのセクション 3.4 「強制的なベースライン設定の設定」
- ◆ 27 ページのセクション 3.5 「パッチ管理のライセンス」

3.1 サブスクリプションサービス情報の表示

- 1 左パネルの [環境設定] タブをクリックします。
[環境設定] ページが表示されます (次の図を参照)。

環境設定	登録	システム情報	アセットインベントリ	システム更新	アセット管理
管理ツールの設定					
コンテンツ					
デバイス管理					
ディスクバリエーションと展開					
イベントとメッセージング					
インフラ管理					
インベントリ					
レポートングサービス					
アセット管理					
パッチ管理					

- 2 [パッチ管理] をクリックします。

4つのリンク (サブスクリプションサービス情報]、[HTTP プロキシの設定]、[サブスクリプションダウンロード]、および [強制的なベースライン設定]) が表示されます。

環境設定	登録	システム情報	アセットインベントリ	システム更新	アセット管理
管理ツールの設定					
コンテンツ					
デバイス管理					
ディスクバリと展開					
イベントとメッセージング					
インフラ管理					
インベントリ					
レポートングサービス					
アセット管理					
バッチ管理					
カテゴリ		説明			
サブスクリプションサービス情報		サブスクリプションログを表示してサブスクリプション設定を更新する。			
HTTPプロキシの環境設定		インターネットパッチサブスクリプションにアクセスするためのHTTPプロキシの環境設定を行う。			
サブスクリプションダウンロード		サブスクリプションダウンロードオプションを設定する。			
強制的なベースライン設定		強制的なベースラインインストールの動作に関するグローバル値を設定する。			

- 3 [サブスクリプションサービス情報] リンクをクリックします。
 [サブスクリプションサービス情報] ページが表示されます (次の図を参照)。

環境設定 > サブスクリプションサービス情報

サブスクリプションサービス情報 ✕

サブスクリプションログを表示してサブスクリプション設定を更新する。

サブスクリプションサービス情報 ⌵

サブスクリプションサービスの開始 /デバイス/サーバ/192.168.8.206 サービス実行中

最後のサブスクリプションポール 10/04/22 0:00

サブスクリプションレプリケーションステータス 完了

サブスクリプションホスト novell.patchlink.com

サブスクリプション通信間隔(毎日) 00:00 今すぐ更新

ZENworks Patch Management設定のリセット

サブスクリプションサービス履歴 ⌵

アクション ▼

タイプ	ステータス	開始日	終了日	期間	成功	エラー-詳細(存在する場合)
ライセンス	完了	10/04/21 14:41	10/04/21 14:41	00:00:00	False	
バンドル	完了	10/04/22 13:32	10/04/22 13:32	00:00:00	True	
パッチ	完了	10/04/22 0:00	10/04/22 2:37	02:37:14	True	

OK 適用 リセット キャンセル

[サブスクリプションサービス情報] ページには、ステータスなど、サブスクリプションに関するすべての情報が表示されます。また、サブスクリプション設定をアップデートすることもできます。

サブスクリプション情報をリフレッシュするには、[サブスクリプション情報] ページの [アクション] ドロップダウンリストをクリックして [更新] オプションを選択します (次の図を参照)。



次の表は、[サブスクリプションサービス情報] ページに示される各ステータス項目について説明しています。

ステータス項目	定義
サブスクリプションサービスの開始	<p>管理ゾーン内の複数のサーバからサーバを選択することができます。サブスクリプションサービスを開始するには、ドロップダウンリストからサーバを選択して [開始] ボタンをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ サブスクリプションサービスの実行が開始されると、[開始] ボタンが [実行中のサービス] になります。 ◆ 管理ゾーンに複数の ZENworks サーバがある場合は、任意の 1 つを選択してパッチ管理サーバに指定することができます。 <p>選択されたパッチ管理サーバは、新しいパッチをダウンロードし、毎日更新します。したがって、インターネットへの接続が良好に保たれます。</p> <p>注: パッチ管理サーバを選択できるのは、このリリースのゾーンごとに 1 回だけです。</p>
最後のサブスクリプションポール	前回正常にアップデートが実行された日時。
サブスクリプションレプリケーションステータス	パッチサブスクリプションレプリケーションのプロセスの最新ステータス。
サブスクリプションホスト	パッチ管理 ライセンスサーバ (http://novell.patchlink.com) の DNS 名。
サブスクリプション通信インターバル (毎日)	ZENworks サーバが ZENworks Patch Subscription Network と通信して、新しいパッチとアップデートを取得する時刻。
ZENworks Patch Management のリセット	展開を含めて、すべてのパッチ管理設定をデフォルトの状態に設定できます。

次の表は、このページにある各ボタンのアクションについて説明しています。

ボタン	アクション
OK	[環境設定] ページに戻ることができます。
適用	サブスクリプション通信間隔に対して行った変更を保存できます。
リセット	レプリケーションステータスをリセットして、ZENworks Patch Subscription Network との完全なレプリケーションを開始します。
今すぐ更新	ZENworks サーバと ZENworks Patch Subscription Network のレプリケーションを開始し、パッチサブスクリプションを強制的にただちにダウンロードします。
キャンセル	最後に実行したアクションをキャンセルできます。

[サブスクリプションサービス履歴] セクションにはサブスクリプション動作の動作状況ログが表示されます。次の表は、このセクションの各項目について説明していません。

項目	定義
タイプ	アカウントに定義されているサブスクリプションタイプ。つまり、「パッチ (サブスクリプションレプリケーション)」、「バンドル (サブスクリプションレプリケーション)」、および「ライセンス」です。
ステータス	レプリケーションのステータス。レプリケーションが開始されると、ステータスは [実行中] になります。レプリケーションが終了すると、ステータスは [完了] になります。 注: レプリケーションプロセスが割り込みにあった場合、ステータスは [リセット中] になります。これは、レプリケーションプロセスが割り込みにあった地点から継続していることを示しています。
開始日	レプリケーションが開始された日時。
最終日	レプリケーションが終了した日時。
期間	レプリケーションの実行時間。
成功	レプリケーションが成功したかどうかを示します。[True] はレプリケーションが成功したことを、[False] はレプリケーションが完了してないか失敗したことをそれぞれ示します。
エラー詳細 (存在する場合) パッチダウンロードプロセス中に発生したすべてのエラーの詳細。	

3.2 HTTP プロキシ詳細の設定

- 1 左のパネルで [環境設定] タブをクリックして、[環境設定] ページを表示します。

環境設定	登録	システム情報	アセットインベントリ	システム更新	アセット管理
管理ゾーンの設定					
コンテンツ					
デバイス管理					
ディスカバリと展開					
イベントとメッセージング					
インフラ管理					
インベントリ					
レポートングサービス					
アセット管理					
パッチ管理					

- 2 [パッチ管理] をクリックして、4つのリンク ([サブスクリプションサービス情報]、[HTTP プロキシの環境設定]、[サブスクリプションダウンロード]、および [強制的なベースライン設定]) を表示します。

環境設定	登録	システム情報	アセットインベントリ	システム更新	アセット管理
管理ツールの設定					
コンテンツ					
デバイス管理					
ディスクバリエーションと展開					
イベントとメッセージング					
インフラ管理					
インベントリ					
レポートングサービス					
アセット管理					
パッチ管理					
カテゴリ	説明				
サブスクリプションサービス情報	サブスクリプションログを表示してサブスクリプション設定を更新する。				
HTTPプロキシの環境設定	インターネットパッチサブスクリプションにアクセスするためのHTTPプロキシの環境設定を行う。				
サブスクリプションダウンロード	サブスクリプションダウンロードオプションを設定する。				
強制的なベースライン設定	強制的なベースラインインストールの動作に関するグローバル値を設定する。				

- 3 [HTTP プロキシの設定] リンクをクリックします。[プロキシサーバ詳細] ページが表示されます。

環境設定 > HTTPプロキシの環境設定 @ @ ▼

HTTPプロキシの環境設定 ✕

インターネットパッチサブスクリプションにアクセスするためのHTTPプロキシの環境設定を行う。

HTTPプロキシサーバ詳細 ⤴

プロキシホスト

ポート

認証が必要ですか?

ユーザ名

パスワード

パスワードの確認

[プロキシサーバ詳細] ページでは、インターネットパッチサブスクリプションにアクセスできるように HTTP プロキシを設定することができます。HTTP プロキシサーバを使用すると、パッチ管理がサブスクリプションサービスをインターネット経由でダウンロードできます。

次の表は、[プロキシサーバ詳細] ページの各フィールドについて説明しています。

項目	説明
プロキシホスト	ZENworks Patch Subscription Network に接続するために使用するプロキシアドレス。
ポート	ZENworks Patch Subscription Network に接続するために使用するプロキシポート。

項目	説明
認証の要求	このチェックボックスをオンにすると、プロキシサーバはユーザ認証後にのみ使用可能になります。このチェックボックスをオンにすると、[ユーザ名] および [パスワード] フィールドが有効になります。
ユーザ名	認証に使用するユーザの名前。
パスワード	認証に使用するユーザのパスワード。
パスワードの確認	ユーザの確認用パスワード。

次の表は、このページにある各ボタンのアクションについて説明しています。

ボタン	アクション
OK	[環境設定] ページに戻ることができます。
適用	テキストフィールドに入力したデータを保存できます。
リセット	テキストフィールドに入力したデータをリセットできます。
キャンセル	最後に実行したアクションをキャンセルできます。

3.3 サブスクリプションダウンロード詳細の設定

- 1 左のパネルで [環境設定] タブをクリックして、[環境設定] ページを表示します。

環境設定	登録	システム情報	アセットインベントリ	システム更新	アセット管理
管理ゾーンの設定					
コンテンツ					
デバイス管理					
ディスクカバリと展開					
イベントとメッセージング					
インフラ管理					
インベントリ					
レポートインテグレーションサービス					
アセット管理					
パッチ管理					

- 2 [パッチ管理] をクリックして、4つのリンク ([サブスクリプションサービス情報]、[HTTPプロキシの環境設定]、[サブスクリプションダウンロード]、および [強制的なベースライン設定]) を表示します。

環境設定	登録	システム情報	アセットインベントリ	システム更新	アセット管理
管理ツールの設定					
コンテンツ					
デバイス管理					
ディスクバリエーションと展開					
イベントとメッセージング					
インフラ管理					
インベントリ					
レポートングサービス					
アセット管理					
パッチ管理					
カテゴリ		説明			
サブスクリプションサービス情報		サブスクリプションログを表示してサブスクリプション設定を更新する。			
HTTPプロキシの環境設定		インターネットパッチサブスクリプションにアクセスするためのHTTPプロキシの環境設定を行う。			
サブスクリプションダウンロード		サブスクリプションダウンロードオプションを設定する。			
強制的なベースライン設定		強制的なベースラインインストールの動作に関するグローバル値を設定する。			

- 3 [サブスクリプションダウンロード] リンクをクリックして、[サブスクリプションダウンロードオプション] ページを表示します。

環境設定 > サブスクリプションダウンロード

サブスクリプションダウンロード
サブスクリプションダウンロードオプションを設定する。

サブスクリプションダウンロード
言語オプションを選択してください
Vistaの場合、全言語がサポートされています。これらの言語はVista以前のオペレーティングシステムおよびその他のMicrosoft以外のコンポーネント向けです。最大のパフォーマンスを発揮させるには、組織で使用されている言語のみを選択してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 英語	<input checked="" type="checkbox"/> ポルトガル語 (ブラジル)	<input checked="" type="checkbox"/> フランス語	<input checked="" type="checkbox"/> イタリア語	<input checked="" type="checkbox"/> ドイツ語
<input type="checkbox"/> 日本語	<input type="checkbox"/> 韓国語	<input checked="" type="checkbox"/> 中国語 (繁体字)	<input checked="" type="checkbox"/> 中国語 (簡体字)	<input type="checkbox"/> 香港中国語
<input checked="" type="checkbox"/> スペイン語	<input type="checkbox"/> オランダ語	<input type="checkbox"/> スウェーデン語	<input type="checkbox"/> フィンランド語	<input type="checkbox"/> チェコ語
<input type="checkbox"/> デンマーク語	<input type="checkbox"/> ハンガリー語	<input type="checkbox"/> ノルウェー語	<input type="checkbox"/> ロシア語	

以下のオプションを選択して、Discover Applicable Updates割り当てに全言語を取り込みます (非推奨)。

複数言語の混入

パッチサブスクリプションと通信する際に安全なチャネルの使用を指定する

SSL

パッチバンドルコンテンツがその他のサーバに自動的に複製されるかどうかを指定する

パッチバンドルをサテライトサーバにキャッシュする

パッチバンドルをプライマリサーバにキャッシュする

OK 適用 リセット キャンセル

[サブスクリプションダウンロードオプション] ページでは、パッチ管理サーバのサブスクリプションダウンロードオプションを設定することができます。ネットワークで使用する言語を選択することで、組織に最も適したパッチのみをダウンロードできます。次にパッチレプリケーションが実行されると、選択した言語のパッチのみがダウンロードされるので、パッチ管理サーバでのダウンロード時間とディスク容量が節約できます。

注: 1つの言語で数百ものパッチになる場合があるため、すべての言語を選択することはお勧めしません。不要な言語をダウンロードすると何千もの不要なパッチ定義がZENworksプライマリサーバデータベースにダウンロードされ、[パッチ管理]タブ内でそれらを無効にしなくてはならなくなります。

次の表は、[サブスクリプションダウンロードオプション] ページの各オプションについて説明しています。

項目	説明
言語オプションを選択してください	ダウンロードするパッチの言語を選択できます。たとえば、[フランス語] チェックボックスをオンにした場合、フランス語のパッチのみがダウンロードされます。
複数言語の混合	適用可能な更新割り当ての検出タスクごとに、すべての言語を組み合わせることができます(推奨しません)。
[SSL]	パッチリスト情報の安全なダウンロードをオンまたはオフにできます。推奨する設定は「オン」です。
Cache Patch Bundles to Satellites(パッチバンドルをサテライトにキャッシュする)	パッチバンドルを、プライマリサーバで管理しているサーバまたはワークステーションのキャッシュに入れることができます。
パッチバンドルをプライマリサーバにキャッシュする	パッチバンドルをプライマリサーバのみのキャッシュに入れることができます。

重要: 大規模なネットワーク環境を有する顧客は、[Cache Patch Bundles to Satellites(パッチバンドルをサテライトにキャッシュする)] および [パッチバンドルをプライマリサーバにキャッシュする] の両方を選択して、環境内におけるパッチの配布と、毎日の Discover Applicable Update タスクを最適に行ってください。これらのオプションを選択しないと、高度分散 WAN 環境でのこれらのパッチバンドルの配布が非常に遅く、非効率的になることがあります。

企業ネットワーク環境では、通常は複数の ZENworks 10 Configuration Management プライマリサーバをインストールします。これらのサーバの内 1 台のみをパッチのダウンロードに使用できますが、どのプライマリサーバにも、ゾーン内の近接するエージェントに配布するためにパッチバンドルコンテンツのキャッシュがあります。このため、エージェントがバンドルを取得しようとする際、パッチがダウンロードされたプライマリサーバ以外の、近接するプライマリサーバから直接バンドルを取得できません。

また、顧客のネットワーク内にインストールされたサテライトは、バンドルコンテンツのキャッシュとしても機能します。エージェントがサテライトのあるリモート支社にある場合、パッチがダウンロードされたプライマリサーバ以外のサテライトから直接コンテンツを取得できます。

次の表は、このページにある各ボタンのアクションについて説明しています。

ボタン	アクション
OK	[環境設定] ページに戻ることができます。
適用	ページに行った変更を保存することができます。

ボタン	アクション
リセット	選択したオプションをリセットすることができます。
キャンセル	最後に実行したアクションをキャンセルできます。

パッチサブスクリプションを使用する際の推奨ベストプラクティスは、次のとおりです。

- 顧客は、不要になったパッチを必ず無効にするようにすれば、毎日保存されるパッチスキャンデータ量が最小化され、各エンドポイントデバイスをスキャンする時間も短縮されます。
- 必要なパッチのみをキャッシュするように強くお勧めします。パッチがダウンロードされたプライマリサーバにパッチがキャッシュされると、ゾーン内のすべてのプライマリサーバとサテライトにコピーされる必要があります。すべてのパッチをダウンロードすると、ZENworks 10 Configuration Management コンテンツ配布ネットワーク内の容量と帯域幅が浪費されます。

3.4 強制的なベースライン設定の設定

1 左のパネルで **[環境設定]** タブをクリックして、**[環境設定]** ページを表示します。

環境設定	登録	システム情報	アセットインベントリ	システム更新	アセット管理
管理ゾーンの設定					
コンテンツ					
デバイス管理					
ディスクバリと展開					
イベントとメッセージング					
インフラ管理					
インベントリ					
レポートングサービス					
アセット管理					
パッチ管理					

2 **[パッチ管理]** をクリックして、4つのリンク (**[サブスクリプションサービス情報]**、**[HTTP プロキシの環境設定]**、**[サブスクリプションダウンロード]**、および **[強制的なベースライン設定]**) を表示します。

環境設定	登録	システム情報	アセットインベントリ	システム更新	アセット管理
管理ゾーンの設定					
コンテンツ					
デバイス管理					
ディスクバリと展開					
イベントとメッセージング					
インフラ管理					
インベントリ					
レポートングサービス					
アセット管理					
パッチ管理					
カテゴリ		説明			
サブスクリプションサービス情報		サブスクリプションログを表示してサブスクリプション設定を更新する。			
HTTPプロキシの環境設定		インターネットパッチサブスクリプションにアクセスするためのHTTPプロキシの環境設定を行う。			
サブスクリプションダウンロード		サブスクリプションダウンロードオプションを設定する。			
強制的なベースライン設定		強制的なベースラインインストールの動作に関するグローバル値を設定する。			

- 3 [強制的なベースライン設定] リンクをクリックして、[強制的なベースライン設定] ページを開きます。

環境設定 > 強制的なベースライン設定

強制的なベースライン設定 ✕

強制的なベースラインインストールの動作に関するグローバル値を設定する。

強制的なベースライン設定 ↑

強制的なベースラインの自動再起動を有効にする

コンピュータで強制的なパッチのインストールを完了するには、再起動が必要です。追加情報が必要な場合は、Novell ZENworks Patch Management 管理者に連絡してください。

オプション	はい	いいえ
再起動の抑止	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ユーザによるキャンセルを許可	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
再起動前にダイアログを表示する時間	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ユーザによるスヌーズを許可	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

120
0 日 2 時間 0 分

OK
適用
リセット
キャンセル

[強制的なベースライン設定] ページでは、強制的なベースラインパッチの展開を完全に制御できます。たとえば、強制的なベースラインパッチが適用されたときに、マシンを自動的に再起動するかどうかを指定できます。また、強制的なベースラインパッチのインストール用のグローバルオプションも設定できます。

ページには次のオプションが表示されます。

- ◆ **強制的なベースラインの自動再起動を有効にする**：このオプションを選択すると、必須ベースラインパッチが適用されたときにマシンの自動再起動が有効になります。

注：自動起動オプションは、インストール後に再起動が不要なパッチには適用されません。

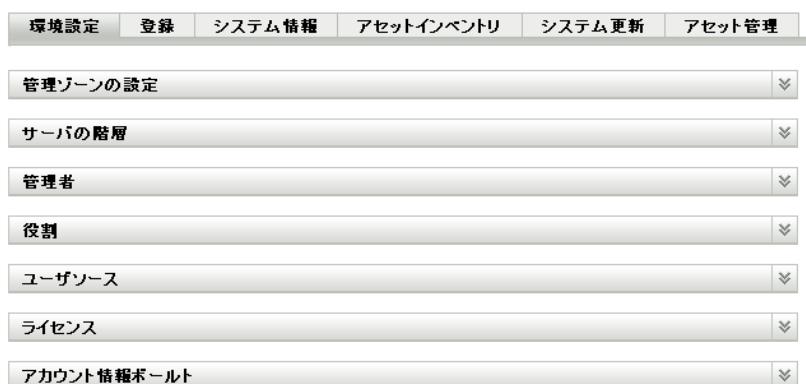
- ◆ **メッセージボックス**：通知メッセージのテキスト。
- ◆ **オプション**：自動再起動オプションを定義するときに、デフォルト設定の値を使用するか、カスタム設定の値を使用するかを指定できます。オプションは4つあります。
 - ◆ **再起動の抑止**：ユーザがパッチのインストール後に再起動できないようにします。
 - ◆ **ユーザによるキャンセルを許可**：ユーザが再起動プロセスをキャンセルできるようにします。
 - ◆ **再起動前にダイアログを表示する時間**：パッチのインストール後にマシンを再起動するかどうかをユーザが選択する秒数。
 - ◆ **ユーザによるスヌーズを許可**：このオプションはユーザが再起動をスヌーズできるようにします。

ページには次のボタンもあります。

ボタン	アクション
OK	[環境設定] ページに戻ります。
適用	ページへの変更内容を保存します。
リセット	選択したオプションをリセットします。
キャンセル	最後のアクションをキャンセルします。

3.5 パッチ管理のライセンス

1 左のパネルで [環境設定] タブをクリックして、[環境設定] ページを表示します。



2 必要に応じて、[ライセンス] セクションを展開します。

The image shows the 'ライセンス' (License) section expanded. It contains a table titled '製品のライセンス登録' (Product License Registration) with the following data:

製品/コンポーネント名	ライセンス状態	有効期限
ZENworks 10 Patch Management	アクティブ	
Asset Inventory for Unix/Linux	評価	2010年6月12日 13時40分48秒 EEST
ZENworks 10 Configuration Management	評価	2010年6月12日 13時40分49秒 EEST
ZENworks 10 Asset Management	評価	2010年6月12日 13時40分50秒 EEST

At the bottom left of the table, there is a pagination indicator '1 - 5/5'. At the bottom right, there is a link '5 項目の表示' (Show 5 items).

3 [ZENworks 10 Patch Management] をクリックします。

パッチ管理ライセンス

製品のアクティブ化

製品サブスクリプションシリアル番号:

会社名

電子メールアドレス

製品の非アクティブ化

アカウントID

有効期限内ライセンス合計数

アクション ▼

説明	ステータス	ベンダ	有効期限	購入済み
使用できる項目がありません。				

OK 適用 リセット キャンセル

[パッチ管理ライセンス] ページでは、ZENworks プライマリサーバのパッチ管理サブスクリプションを表示および検証できます。このページでは、購入済みのサブスクリプションのアクティブ化または期限切れの場合の更新も実行でき、パッチ管理アクティビティの一部であるすべてのサブスクリプション要素の概要を示します。この情報は、Patch Management Subscription Service とのレプリケーションごとにアップデートされます。

重要: 旧バージョンのパッチ管理からアップグレードする場合は、Patch Management 10.1 サーバのアンインストール後も、既存のパッチ管理サブスクリプションシリアル番号を使用できます。

パッチ管理は 60 日の無料試用期間を設けています。製品を購入していない場合、または 60 日間の無料試用期間内であれば、シリアル番号を入力する必要はありません。

60 日の無料試用期間の終了後も ZENworks コントロールセンターのパッチ管理機能を使用し続けるには、次の手順に従います。

- 1 パッチ管理の有効なサブスクリプションシリアル番号を会社名および電子メールアドレスとともに入力します。
- 2 サブスクリプションシリアル番号を再検証します。

以上でライセンスレコードが有効になり、説明、購入日、ベンダー、有効開始日、および有効期限日が表示されるようになります。

シリアル番号を検証し、パッチをダウンロードするための権限を得るには、パッチサブスクリプションがダウンロードされているプライマリサーバからポート 443 (HTTPS) 経由で <https://novell.patchlink.com/update> にアクセスする必要があります。

パッチ管理コンテンツ配布ネットワークは、多くのサーバを配置できるグローバルなキャッシュインフラストラクチャです。このネットワークからパッチをダウンロードするには、ポート 80 (HTTP) 経由で <http://novell.cdn.lumension.com/novell> にアクセスする必要があります。セキュリティ上の理由で、インターネットへの SSL アクセスを許可することも推奨します。[SSL] オプションはデフォルトで有効になっており、安全で信頼できるサイトからパッチのリストをダウンロードします。

最も近いコンテンツ配布ノードのローカル IP アドレスを検出するには、nslookup を使用する必要があります。コンテンツ配布ネットワークは、世界中に 40,000 を超えるキャッシュ配布サーバを配し、さらに各地域に複数の冗長キャッシュサーバを有しています。ファイアウォール経由でアドレス範囲へのアクセスを許可することが重要です。

次の表は、[サブスクリプションシリアル番号] ページの各フィールドについて説明しています。

表 3-1 パッチ管理のライセンス項目

項目	定義
製品のアクティブ化	パッチ管理サービスをアクティブ化します。[パッチ管理] タブはメインパネルに復元され、[パッチ管理] セクションは [環境設定] パネルに復元されます。
製品の非アクティブ化	パッチ管理サービスを非アクティブ化します。[パッチ管理] タブはメインパネルから削除され、[パッチ管理] セクションは [環境設定] ページから削除されます。
製品サブスクリプションシリアル番号	パッチ管理ライセンス番号 (シリアル番号)。
会社名	パッチ管理サービスを登録する会社名。
メールアドレス	アラートや今後通知を受信するために使用する電子メールアドレス。
アカウント ID	サーバによって作成されたキー。ZENworks Patch Management Subscription Service に渡され、アップデート要求を検証するために使用されます。
有効期限内ライセンス合計数	アクティブなライセンスの合計数。登録デバイスごとに 1 つのライセンスが必要です。
説明	ライセンスの説明またはライセンスの名前。
ステータス	ライセンス検証のステータス。検証が開始されると、[ステータス] カラムには [初期化の検証] と表示されます。レプリケーションが終了すると、ステータスは [完了] になります。
ベンダ	ライセンスの購入元。
有効期限	ライセンスの期限が切れる日付。一般に、ライセンスの有効期限は購入日から 1 年です。
購入済み	その製品と共に購入したライセンスの合計数。

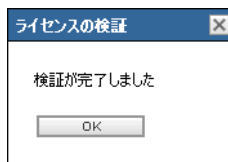
パッチ管理のシリアル番号を入力できるのは 1 回限りです。シリアル番号を入力したら、[パッチ管理ライセンス] ページの [アクション] ドロップダウンリストをクリックし、[ライセンスの検証] を選択することによって、ライセンスを検証できます。ライセンス検証プロセスを開始するには、[適用] をクリックします。ライセンスの自動検証はレプリケーションプロセスによって毎日実行されます。

図 3-1 [ライセンスの検証] オプション



ライセンスの確認プロセスを開始するには、[適用] をクリックします。

図 3-2 [ライセンスの確認] メッセージボックス



[ライセンスの確認] メッセージボックスは、サブスクリプションライセンスの確認が完了しているか、またはライセンスの有効期限が切れていることを示します。

注：ライセンス検証結果のステータスは、[サブスクリプションサービス情報] ページの [サブスクリプションサービス履歴] パネルで確認できます。確認が開始されると、[ステータス] カラムには [確認の初期化中] と表示されます。検証が終了すると、[ステータス] カラムには [完了] と表示されます。[成功] カラムは検証が成功したかどうかを示します。[True] は検証が成功したことを、[False] は検証が完了してないか失敗したことをそれぞれ示します。

次の表は、[パッチ管理ライセンス] ページにある各ボタンのアクションについて説明しています。

表 3-2 [パッチ管理ライセンス] ページのボタン

ボタン	アクション
OK	[環境設定] ページに戻ることができます。
適用	ライセンス検証プロセスを開始できます。
リセット	テキストフィールドに入力したデータをリセットできます。
キャンセル	最後に実行したアクションをキャンセルできます。

[パッチ管理] タブの使用

次のセクションでは、[パッチ] ページについて詳しく説明します。

- ◆ 31 ページのセクション 4.1 「パッチの表示」
- ◆ 32 ページのセクション 4.2 「ダッシュボード」
- ◆ 34 ページのセクション 4.3 「ステータス」
- ◆ 35 ページのセクション 4.4 「[パッチ] ページの使用」
- ◆ 47 ページのセクション 4.5 「パッチ管理 BOE レポート」

4.1 パッチの表示

パッチは、パッチが適用されているかどうかを判別するために必要な説明、署名、およびフィンガープリントで構成されます。パッチは、パッチを展開するための関連パッチバンドルでも構成されます。[パッチ] ページには、さまざまなソフトウェアベンダから報告されたすべての既知のパッチのリストが表示されます。パッチが報告および分析されると、ZENworks Patch Subscription Network 経由で ZENworks サーバに配布できるよう登録されます。既知のパッチを確認するには、ZENworks Adaptive Agent を各デバイスにインストールしておく必要があります。既知のパッチをスキャンするため、毎日各デバイスごとに Discover Applicable Updates (DAU) というパッチバンドルが割り当てられ、実行されます。このタスクは結果を返し、その結果が [パッチ] ページに表示されます。結果はパッチステータスの表に表示されます。パッチの合計数は左下角にある表の下に表示されます。

パッチ管理のパッチを参照するには、左パネルの [パッチ管理] タブをクリックします (次の図を参照)。

図 4-1 [パッチ管理] タブ



次の図に示すように、パッチが表示されます。

図 4-2 [パッチ] ページにリストされたパッチ

パッチ名	影響	パッチ適用済み	パッチ未適用
890830 Windows Malicious Software Removal Tool - April 2010 (KB890830)	ソフトウェアインストーラ	0	10
979306 Update for Windows XP (KB979306)	推奨	0	9
Adobe Acrobat (Chinese-CHS) Reader 8.1	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat (French) Reader 7.0.5	ソフトウェアインストーラ	0	3
Adobe Acrobat (French) Reader 7.0.7	ソフトウェアインストーラ	0	3
Adobe Acrobat (French) Reader 7.0.8	ソフトウェアインストーラ	0	3
Adobe Acrobat (French) Reader 7.0.9	ソフトウェアインストーラ	0	3
Adobe Acrobat (French) Reader 8.1	ソフトウェアインストーラ	0	3
Adobe Acrobat (German) Reader 7.0.9	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat (German) Reader 8.1	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat (Italian) Reader 7.0.5	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat (Italian) Reader 7.0.7	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat (Italian) Reader 7.0.8	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat (Italian) Reader 7.0.9	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat (Italian) Reader 8.1	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat (Portuguese-PTB) Reader 7.0.9	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat (Portuguese-PTB) Reader 8.1	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat (Spanish) Reader 7.0.5	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat (Spanish) Reader 7.0.7	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat (Spanish) Reader 7.0.8	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat (Spanish) Reader 7.0.9	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat (Spanish) Reader 8.1	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat Reader 7.0	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat Reader 7.0.7	ソフトウェアインストーラ	0	1
Adobe Acrobat Reader 7.0.8	ソフトウェアインストーラ	0	1

4.2 ダッシュボード

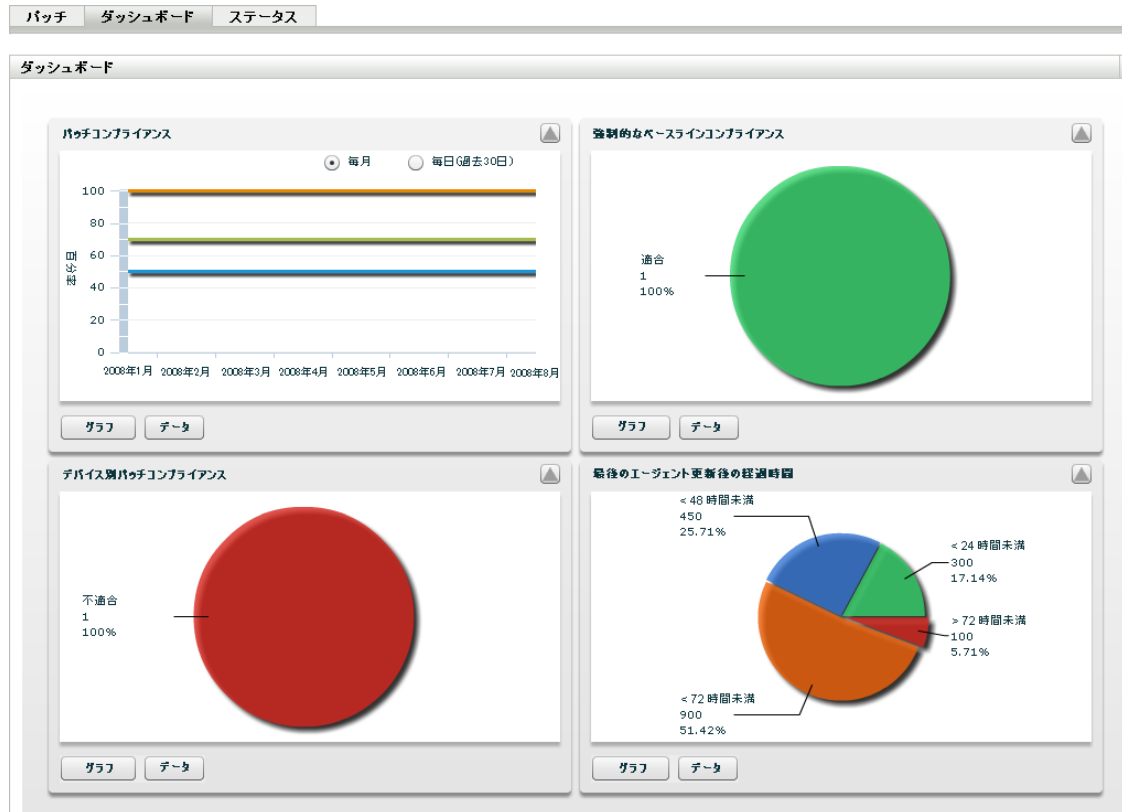
ダッシュボードは、運用、管理、コンプライアンスレポートのニーズに、グラフィカルなダッシュボードと4つの標準レポートで対処します。レポートでは、パッチ、パッチ展開、パッチのステータス、傾向、インベントリなどを、個々のマシンまたは集約レベルで文書化します。これによって、内部および外部監査、およびコンプライアンス要件への進捗を示す一元化したビューが得られます。ダッシュボードは、[パッチ管理] タブの [アクション] メニューで [ダッシュボードレポートの更新] をクリックして、更新できます。

ダッシュボードレポートインテグレーションスレッドは、所定の日付に実際にパッチを適用された有効なパッチの全体的な割合に関して、毎日統計を取得します。初回ダッシュボードレポートを生成するには、少なくとも24時間かかります。

注: パッチ管理を効果的に使用するには、環境に関係のないパッチを無効にして、毎日のコンプライアンス統計がデバイスのネットワーク関係パッチのみを基準にするようにし、実際に特定の日に適用された有効なパッチの割合を取得します。

次は、[ダッシュボード] ページの図です。

図 4-3 [ダッシュボード] ページ



- ◆ **パッチコンプライアンス** : それぞれのパッチ影響カテゴリに対する全体的なコンプライアンスの、毎月 / 毎日の傾向を表示します。

パッチ管理ベストプラクティスでは、常にコンプライアンス状況を監視し、意図したパッチの定期的な展開やパッチ管理ソリューションの正しい使用が、確実に行われるようにすることを推奨します。トレンドラインにマウスオーバーすると、影響カテゴリ (重大、ソフトウェア、またはオプション) について実際に計算された割合が表示されます。個々のパッチについてのパッチ適用済み / 未適用の合計の詳細情報は、[パッチ管理] の [パッチ] タブに表示されます。

- ◆ **月 / 毎日** : コンプライアンストレンドデータの期間。
- ◆ **重大のパッチ適用済み** : 適用された重大なパッチの割合。
- ◆ **オプションのパッチ適用済み** : 適用された推奨および情報パッチの割合。
- ◆ **ソフトウェアのパッチ適用済み** : 適用されたソフトウェアパッチの割合。
- ◆ **強制的なベースラインコンプライアンス** : 現在強制的なベースラインコンプライアンスにあるデバイスグループの割合を表示します。

強制的なベースラインポリシーを確立すると、管理者はパッチをデバイスグループに迅速かつ容易に自動展開でき、新しいコンピュータを購入または再イメージしたときに既知の脆弱性が返されないようにすることができます。各グループは、そのグルー

プの有効化された全ベースラインパッチが、すべてのグループメンバーデバイスに対して現在パッチ適用済みのステータスである場合に限り、強制的なベースラインコンプライアンスとして評価されます。

- ◆ **ステータス** : 適合、不適合、またはベースラインなし。
- ◆ **グループ数** : 各状態のグループ数。
- ◆ **デバイス別パッチコンプライアンス** : パッチ管理が監視しているデバイスの全体的なパッチコンプライアンスを表示します。

各デバイスは、パッチ管理内で現在使用できるアクティブな全パッチについてパッチ適用済みのステータスの場合のみ、コンプライアンスとして評価されます。適用されないパッチはパッチ管理内では常に無効にしておきます。これにより、このメトリックをデバイスの管理対象ネットワークの関連パッチについてのみ追跡できます。

- ◆ **ステータス** : 適合または不適合。
- ◆ **デバイス数** : 各状態のデバイス総数。
- ◆ **前回のエージェント更新からの経過時間** : ネットワーク内のすべての管理対象デバイスについて、最終 DAU サイクル以降の経過時間を表示します。

パッチ管理システム内部では、不足したパッチがないか、すべてのデバイスを定期的にスキャンすることが重要です。定期的な毎日の DAU サイクルでも、当日にオフラインになっているラップトップやワークステーションがあることがあります。

- ◆ **経過時間** : 48 時間未満、72 時間未満、72 時間未満。
- ◆ **デバイス数** : 各カテゴリのデバイス総数。

次の表は、このページにある各ボタンのアクションについて説明しています。

ボタン名	アクション
グラフ	グラフで詳細を表示します。
データ	表形式で詳細を表示します。
ズームコントロール	1つのグラフをページいっぱい に拡大したり、元の大きさに戻したりします。

ボタンをクリックすると、対応するグラフが全画面モードになります。 ボタンをクリックすると、グラフは元のサイズに戻ります。

4.3 ステータス

このページには、パッチおよびバンドルのダウンロードステータスが表形式で表示され、パッチキャッシュおよびキューイングステータスの詳細も表示されます。

- ◆ [35 ページのセクション 4.3.1 「ステータス」](#)
- ◆ [35 ページのセクション 4.3.2 「キャッシュステータス」](#)

4.3.1 ステータス

表 4-1 ステータステーブルの項目

項目名	項目ステータス
署名のダウンロード	署名のダウンロードが終了したのか、進行中なのかを示します。
署名の最終ダウンロード時刻	ローカルサーバがパッチサブスクリプションサーバから署名に接続してダウンロードした最終時刻を示します。
バンドルダウンロード	パッチバンドルのダウンロードが完了したか、進行中なのかを示します。
パッチの最終ダウンロード	ローカルサーバがパッチサブスクリプションサーバからパッチに接続してダウンロードした最終時刻を示します。
失敗したダウンロード数	パッチサブスクリプションサーバからダウンロードに失敗したパッチ数を示します。
キャッシュにキューイングされたパッチ数	パッチサブスクリプションサーバからキューに入れられたパッチ数を示します。
アクティブなパッチの数	パッチサブスクリプションサーバからダウンロードできるパッチ数を示します。
新規パッチ数(30 日以内)	30 日以内にパッチサブスクリプションサーバにアップロードされ、ダウンロードできるパッチ数を示します。
最新パッチのリリース日	最終パッチがリリースされた時刻を示します。

4.3.2 キャッシュステータス

表 4-2 キャッシュステータステーブルのカラム見出し

項目	定義
名前	パッチの名前。
ステータス	パッチが正常にダウンロードされたかどうかを示します。
エラー詳細(存在する場合)	ダウンロードプロセス中に発生したすべてのエラーの詳細。

4.4 [パッチ] ページの使用

次のセクションでは、[パッチ] ページについて詳しく説明します。

- ◆ [36 ページのセクション 4.4.1 「パッチ」](#)
- ◆ [43 ページのセクション 4.4.2 「パッチ情報」](#)
- ◆ [44 ページのセクション 4.4.3 「パッチの検索」](#)
- ◆ [45 ページのセクション 4.4.4 「パッチ管理」](#)

4.4.1 パッチ

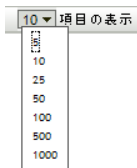
[パッチ] ページのこのセクションでは、パッチに関する次の情報が提供されます。

- ◆ パッチの名前
- ◆ 利用可能なパッチの合計数
- ◆ パッチの影響
- ◆ パッチの統計情報

このセクションには [アクション] メニューがあり、[改善の展開]、[有効]、[無効]、[更新キャッシュ]、および [ダッシュボードレポートの更新] という、パッチに関連する5つのアクションを実行できます。これらのアクションの詳細については、[41 ページの「\[アクション\] メニュー項目」](#)を参照してください。

このセクションには [項目の表示] ドロップダウンリストもあり、次の図に示すように、このセクションに表示する項目の数を選択することができます。

図 4-4 [項目の表示] ドロップダウンリスト



次のセクションでは、[パッチ] ページについて詳しく説明します。

- ◆ [36 ページの「パッチ名」](#)
- ◆ [37 ページの「利用可能なパッチの合計数」](#)
- ◆ [37 ページの「パッチの影響」](#)
- ◆ [38 ページの「パッチの統計情報」](#)
- ◆ [41 ページの「\[アクション\] メニュー項目」](#)

パッチ名

これはパッチを識別する名前です。この名前には一般的にパッチのベンダまたはメーカー、特定のアプリケーション、およびバージョン情報が含まれます。

パッチ名の例を次に示します。Adobe* はベンダで、Acrobat* Reader はアプリケーション、6.0.6 はバージョン情報であることを示します。

図 4-5 パッチ名の例

Adobe Acrobat Reader 6.0.6 アップデート

- ◆ Microsoft* セキュリティパッチにはすべて MS0x-yyy という形式でマイクロソフトセキュリティ情報番号のタイトルが付いています。0x はパッチがリリースされた年、yyy はリリースされたパッチの通し番号を示します。これらのパッチは非常に重大で、できる限り早くインストールする必要があります。

- ◆ Microsoft の非セキュリティのパッチ名にはすべて、ナレッジベース (KB) の記事番号が含まれています。これらのパッチは自分で判断してインストールすることができます。
- ◆ Microsoft サービスパック名、およびサードパーティのパッチ名には、一般に KB 番号が含まれていますが、Microsoft Security Bulletin 番号が含まれることはありません。これらのサービスパックは、期待通りの結果が得られるかどうか十分にテストしてください。

パッチの命名規則の詳細については、パッチおよび公開されているその他の情報の標準化された名前のリスト [Comprehensive Patches and Exposures \(CVE\) \(http://cve.mitre.org/\)](http://cve.mitre.org/) を参照してください。その他に役立つリソースとしては、[National Patch Database \(http://nvd.nist.gov/\)](http://nvd.nist.gov/) があります。これは米国政府による標準ベースのパッチ管理データのリポジトリです。

利用可能なパッチの合計数

展開可能なパッチの合計数が表の左下角に表示されます。次の図では、利用可能なパッチの合計数は 979 です。

図 4-6 [項目の表示] ドロップダウンリスト

1 - 25 / 344

パッチの影響

パッチの重大度に基づいて定義されたパッチのタイプ。タイプは「重大」、「推奨」、「情報」または「ソフトウェアインストーラ」のいずれかになります。それぞれの影響は次のようになります。

- ◆ **重大**：このタイプのパッチは Novell によって重大と判断されているため、できる限り早急にインストールしてください。最近のセキュリティアップデートのほとんどはこのカテゴリに分類されます。ZENworks サーバは、重大な影響を持つパッチを自動的にダウンロードして保存します。
- ◆ **推奨**：このパッチは、重大またはセキュリティ関連ではないものの、役立つものであり、コンピュータの良好な状態を保つために適用すべきと Novell によって判断されています。このカテゴリに分類されるパッチをインストールしてください。
- ◆ **ソフトウェアインストーラ**：このタイプのパッチはソフトウェアアプリケーションです。一般に、ソフトウェアインストーラが含まれます。アプリケーションがマシンにインストールされていない場合には、パッチには [パッチ未適用] と表示されます。
- ◆ **情報**：このタイプのパッチは、Novell によって情報と判断された状態を検出します。情報提供のパッチは情報のみに使用されます。実際にインストールされるパッチはありません。

パッチ管理では、パッチサブスクリプションサービスの影響に関する用語は、パッチの重大度を示すためにベンダーが使用している影響に関する用語に厳密に従っています。各オペレーティングシステムにはベンダー固有の影響度評価があり、その影響度は、このセクションで説明している Novell の評価に対応しています。パッチ管理では、Lumension* Security の勧告に従って、影響度評価の重大度を増加またはステップアップさせています。たとえば、Microsoft の分類で「重大」、「重要」、「中」とされているパッチは、Novell ではすべて「重大」に分類されます。

次の表は、Novell と Microsoft のパッチ分類用語の一覧について説明しています。

表 4-3 Novell と Microsoft のパッチ影響度の対応

Novell パッチ影響度	Windows	その他
重大	重大なセキュリティ 重要 中程度	NA
推奨	推奨 低い 例：Microsoft Outlook 2003 迷惑メール フィルタ更新	NA
ソフトウェアイン ストーラ	ソフトウェア配布 例：Microsoft Windows 悪意のあるソフ トウェア削除ツール (ウィルス削除)	Adobe 8.1 ソフトウェアインストーラ
情報	NA	NA

ソース :Lumension Security

パッチの統計情報

パッチ統計情報は、ZENworks サーバ内において特定のステータスに合致するデバイス (またはグループ) の合計数と、特定のパッチの間の関係を示します。パッチ統計情報は [パッチ] ページの右端にある 2 つのカラムに表示されます。各カラムのステータスは次の内容を示します。

- ◆ **パッチ適用済み** : 対応するパッチが適用されたデバイスの合計数を示すリンクが表示されます。

このリンクをクリックすると、パッチ適用済みのデバイスが一覧にされます。

パッチがアンインストールに対応していない場合、[アクション] メニューの [削除] オプションは無効になっています。

パッチ適用済み		パッチ未適用		情報	
アクション ▼					
<input type="checkbox"/>	デバイス名	ステータス	プラットフォーム	DNS	IPアドレス
<input checked="" type="checkbox"/>	nbrt	オンライン	Windows	NBRT	192.168.3.107

[パッチ適用済み] ページには、パッチが適用されたデバイスについての次の情報が表示されます。

項目	定義
デバイス名	Novell® ZENworks® 10 Patch Management に登録されているデバイスの名前 (パッチの展開先)。

項目	定義
ステータス	デバイスのステータス。ステータスはオフラインまたはオンラインになります。
プラットフォーム	デバイスのオペレーティング システム。
DNS	DNS サーバの名前。
IP アドレス	デバイスの IP アドレス。

パッチをアンインストールするには、[アクション] メニューの [削除] オプションを使用します。

- ◆ **パッチなし**: 対応するパッチが適用されていないデバイスの合計数を示すリンクが表示されます。

このリンクをクリックすると、これらのデバイスが一覧にされます。

パッチ適用済み	パッチ未適用	情報		
<input type="button" value="アクション"/>				
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
デバイス名	ステータス	プラットフォーム	DNS	IPアドレス
<input checked="" type="checkbox"/> nbrt	オンライン	Windows	NBRT	192.168.3.107
<input checked="" type="checkbox"/> 62usxp	オンライン	Windows	62usxp	192.168.4.22
<input checked="" type="checkbox"/> sdsdfsd	オンライン	Windows	sdsdfsd	192.168.3.174

[パッチ未適用] ページには、パッチが適用されたデバイスについての次の情報が表示されます。

項目	定義
デバイス名	Novell® ZENworks® 10 Patch Management に登録されているデバイスの名前 (パッチの展開先)。
ステータス	デバイスのステータス。ステータスはオフラインまたはオンラインになります。
プラットフォーム	デバイスのオペレーティング システム。
DNS	DNS サーバの名前。
IP アドレス	デバイスの IP アドレス。

これらのデバイスにパッチを展開するには、[アクション] メニューの [改善の展開] オプションを使用します。

- ◆ **情報**: [情報] ページには、選択したパッチの詳細情報が表示されます。







プロパティ名	詳細
名前	Windows XPアップデート979306 (KB979306)
影響	推奨
ステータス	使用可能
ベンダ	Microsoft Corp.
リリース日	2010-02-23 00:00:00.0
ベンダ製品ID	Windows XP
説明	LSAC(v2) このアップデートをインストールして、数ヶ国で改訂された夏時間とタイムゾーンの法律によって発生した問題を解決してください。このアップデートにより、コンピュータの時計が2010年の正しい日付に自動的に調整されます。ただし、このインストール後、コンピュータの再起動が必要な場合があります。
パッチ済みデバイスの数	0
パッチされていないデバイスの数	3
適用しないデバイスの数	0

パッチについての次の情報を表示できます。

プロパティ名	定義
名前	パッチの名前。
影響	Novell が判断したパッチの影響度。詳細については、 パッチの影響 を参照してください。
ステータス	パッチのステータスで、[有効]、[無効(置き換え済み)]、[無効(ユーザ別)] があります。
ベンダ名	ベンダの名前。
リリース日	ベンダーがパッチをリリースした日付。
ベンダ製品 ID	ベンダーが製品に割り当てた ID 番号。
説明	パッチの説明。このパッチで解決される不具合や問題、ノートの展開、および展開の前提条件に関する詳細情報を含みます。
パッチ済みデバイスの数	パッチが適用されたデバイス数。
パッチされていないデバイスの数	パッチが適用されていないデバイス数。
適用しないデバイスの数	パッチが適用されないデバイス数。

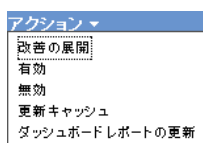
[パッチ] ページに表示されるパッチは、異なるアイコンを持ち、現在のステータスを表します。次のテーブルは、各パッチのアイコンを示しています。

表 4-4 パッチアイコン

パッチアイコン	意義
	無効になっているパッチを示します。 無効になっているパッチのアイコンは、デフォルトで非表示になっています。これらの項目を表示するには、[検索] パネルの [無効を含める] フィルタを使用します。
	ZENworks Patch Subscription Network からパッチのフィンガープリント情報だけが取得されていることを示します。このアイコンはキャッシュされていないパッチを表します。
	選択したパッチに関連するバンドルのダウンロード処理が保留中になっていることを示します。
	選択したパッチに関連するバンドルのダウンロード処理が開始されたことを示します。このプロセスは、ZENworks サーバのこれらのバンドルのキャッシュに格納します。
	パッチをアドレス指定するために必要なフィンガープリントおよび改善パッチバンドルがシステムにキャッシュされていることを示します。このアイコンはキャッシュされ、展開の準備ができていないパッチを表します。
	選択したパッチに関連するバンドルのダウンロード処理中にエラーが発生したことを示します。

[アクション] メニュー項目

[パッチ] セクションには [アクション] メニューがあり、ページに一覧されているパッチに対し、5つのアクションのうち1つを実行できます。次の図は、[アクション] メニューの5つのオプションを示しています。





[アクション] メニューは、次の5つのオプションで構成されています。

- ◆ **改善の展開**：パッチを展開することができます。このオプションを使用するには、展開する必要があるパッチのチェックボックスをオンにして、[アクション] メニューオプションから [改善の展開] を選択し、[改善の展開] ウィザードを開きます。詳細については、[49 ページの第 5 章「改善の展開ウィザードの使用」](#)を参照してください。
- ◆ **有効**：無効になっているパッチを有効にすることができます。
- ◆ **無効**：パッチを無効にすることができます。このオプションを使用するには、必要なパッチのチェックボックスをオンにして [無効] を選択します。選択したパッチがリストから削除されます。
パッチを無効にすると、関連付けられているバンドルもすべて無効になります。
- ◆ **更新キャッシュ**：選択したパッチに関連するバンドルのダウンロード処理を開始して、それらのバンドルを ZENworks サーバにキャッシュします。

ターゲットデバイスにバンドルをインストールする前に、改善パッチバンドルをキャッシュしておく必要があります。

このオプションを使用する

- ◆ [パッチ] リストから1つまたは複数のパッチを選択します。
- ◆ [アクション] メニューで [更新キャッシュ] をクリックします。

パッチアイコンが  に変わります。ダウンロード処理中、アイコンは  に変わります。キャッシングが完了すると、パッチアイコンの色が緑に変わります。これはパッチの改善の展開準備が整っていることを示します。

パッチはアルファベット順に昇順または降順でソートすることができます。ソートするには、次に示すように、カラム見出し [パッチ名] 内の矢印をクリックします。

図 4-7 [パッチ名] カラム

パッチ名 

- ◆ **ダッシュボードレポートの更新**：ダッシュボードレポートを最新の統計で更新できます。

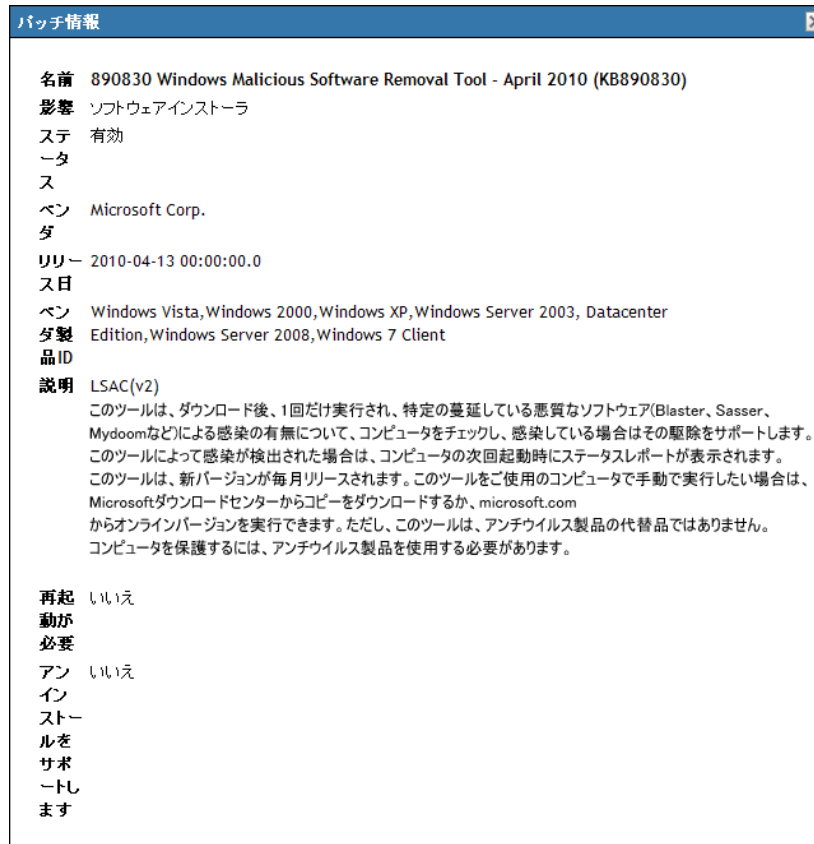
注：パッチのダウンロード日時を確認するには、[バンドル] セクションでそのパッチの [メッセージログ] パネルを表示します。

4.4.2 パッチ情報

選択したパッチの詳細情報は、[パッチ情報] セクションで参照することができます。パッチの名前をクリックすると、そのパッチの詳細が表示されます。

たとえば、パッチリストから [Windows Malicious Software Removal Tool- February 2009 (KB890830)] というパッチを選択した場合、[パッチ情報] セクションには、次の図に示すように、選択したパッチのパッチ分析結果が表示されます。

図 4-8 選択したパッチのパッチ情報



次の表は、[パッチ情報] セクションの各プロパティ名を定義しています。

表 4-5 [パッチ情報] セクション内のプロパティ名

プロパティ名	定義
名前	パッチの名前。
影響	Novell が判断したパッチの影響度。詳細については、 パッチの影響 を参照してください。
ステータス	パッチのステータスで、[有効]、[無効 (置き換え済み)]、[無効 (ユーザ別)] があります。
ベンダ名	ベンダーまたはメーカーの名前。

プロパティ名	定義
リリース日	ベンダーがパッチをリリースした日付。
ベンダ製品 ID	ベンダーが製品に割り当てた ID 番号。
説明	パッチの説明。パッチの展開の利点と展開の事前必要条件を含みます。
再起動が必要	パッチ展開の後、再起動が必要かどうかを示します。
アンインストールをサポート インストール	インストール後にパッチのアンインストールがサポートされているかどうかを示します。

4.4.3 パッチの検索

[パッチ] ページの [検索] セクションには、広範な検索およびデータフィルタリングオプションが用意されており、特定のパッチを検索して、パッチの「ステータス」や「影響」に基づいて結果セットをフィルタすることができます。検索とフィルタリングはそれぞれ独立して実行することもできますが、組み合わせて拡張ドリルダウン機能を実行することもできます。次の図は、[検索] セクションを示しています。

図 4-9 [パッチ] ページの [検索] セクション

パッチを検索するには、次の手順に従います。

- 1 [パッチ名] テキストボックスにパッチ名のすべてまたは一部を入力します。
- 2 [ステータス] または [影響] の下にある目的のチェックボックスをオンにします。
- 3 [ベンダ] ドロップダウンリストで、ベンダを選択します。
- 4 [キャッシュステータス] ドロップダウンリストでキャッシュステータスを選択します。
- 5 [検索] をクリックします。

注: [リセット] をクリックしてデフォルトの設定に戻します。

次の表は、[ステータス] の下にある各フィルタオプションを選択した結果について説明しています。

表 4-6 [検索] の「ステータス」フィルタ

「ステータス」フィルタ	結果
パッチ適用済み	検索結果のパッチリストには、1つまたは複数のデバイスに適用されているすべてのパッチが含まれます。
パッチなし	検索結果のパッチリストには、どのデバイスにも適用されていないすべてのパッチが含まれます。
適用なし	検索結果のパッチリストには、デバイスに適用されないすべてのパッチが含まれます。
無効を含める	検索結果のパッチリストには、管理者によって無効にされているすべてのパッチが含まれます。

次の表は、[影響] の下にある各フィルタオプションを選択した結果について説明しています。

表 4-7 [検索] の「影響」フィルタ

影響フィルタ	結果
重要	検索結果のパッチリストには、Novell によって「重大」と分類されたすべてのパッチが含まれます。
推奨	検索結果のパッチリストには、Novell によって「推奨」と分類されたすべてのパッチが含まれます。
情報	検索結果のパッチリストには、Novell によって「情報」と分類されたすべてのパッチが含まれます。
ソフトウェアインストーラ	検索結果のパッチリストには、Novell によって「ソフトウェアインストーラ」と分類されたすべてのパッチが含まれます。

表 4-8 検索でのベンダフィルタと、キャッシュステータスフィルタ

フィルタ	結果
ベンダ	検索結果には、パッチリスト内のベンダに関連しているすべてのパッチが含まれます。
キャッシュステータス	検索結果には、ローカルサーバでのキャッシュステータスに関連したすべてのパッチが含まれます。

4.4.4 パッチ管理

次のセクションでは、[パッチ管理] ペインのさまざまなオプションについて詳しく説明します。

- ◆ [46 ページの「改善の展開」](#)

- ◆ 46 ページの「パッチのエクスポート」
- ◆ 47 ページの「パッチの表示」

改善の展開

このオプションを使用すると、パッチを展開することができます。このオプションを使用するには、展開するパッチのチェックボックスをオンにして、[改善の展開] リンクをクリックし、[改善の展開] ウィザードを開きます。詳細については、49 ページの第 5 章「改善の展開ウィザードの使用」を参照してください。

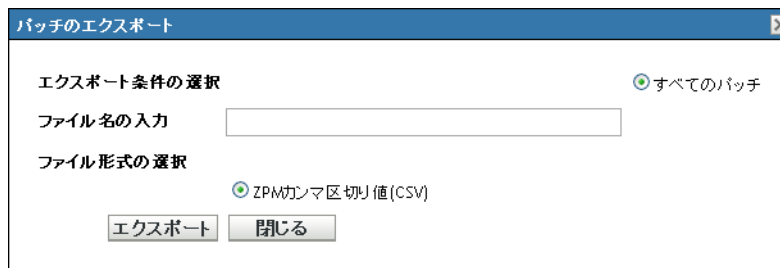
パッチのエクスポート

すべてのパッチのステータスや影響などの詳細をカンマ区切り値 (CSV) ファイルにエクスポートできます。ファイルをダウンロードオプションから開いて、別のファイル形式でファイルを保存するよう選択することができます。

- 1 左ペインで [パッチのエクスポート] リンクをクリックします。

この操作を実行すると、選択した結果だけでなく、すべてのデータの結果がエクスポートされます。ただし、データによっては、読み込み可能な形式の .csv 形式にエクスポートまたは変換できないことがあります。

- 2 [パッチのエクスポート] ダイアログボックスで、[エクスポート] をクリックします。



- 3 [ファイルのダウンロード] ダイアログボックスで、使用可能なオプションを選択します。
 - ◆ **開く** : ファイルを作成して Web ブラウザで開きます。ブラウザから CSV、XML、テキストや各種のスプレッドシートアプリケーション形式のファイルを保存できます。
 - ◆ **保存** : ファイルを作成し、ローカルフォルダに保存します。ファイルは、Microsoft Office Excel CSV 形式で保存されます。ファイルはデフォルトでは ZMPatchesList.csv という名前になります。

- ◆ **キャンセル:** レポートは作成または保存されません。

	A	B	C	D	E	F
1	#ステータス	パッチ名	影響	パッチ済	パッチさ	パッケージ数
2	アクティブ	MS 954157 Workaround for Vulnerabilities in the Indeo codec (December 8, 2009) (Enabled) (See Notes)	重大	0	3	0
3	アクティブ	Microsoft .NET Framework 1.1 SP1 (Rev 2)	重大	1	1	0
4	アクティブ	Adobe APSB10-06 AIR 1.5.3.9130 for Windows (Update) (All Languages)	重大	0	1	0
5	アクティブ	MS 954157 Workaround for Vulnerabilities in the Indeo codec (December 8, 2009) (Disabled) (See Notes)	重大	0	3	0
6	アクティブ	MS 942288 Windows Installer 4.5 (All Languages)	重大	0	11	0
7	アクティブ	MS 973472 Workaround for Vulnerability in Microsoft Office Web Components (Enable) (See Notes)	重大	0	11	0
8	アクティブ	MPSB05-07 Flash Player 7 Improper Memory Access Vulnerability for IE (Rev 2)	重大	0	2	0
9	アクティブ	Microsoft .NET Framework 2.0 SP2 (All Language)	重大	0	4	0
10	アクティブ	MS 974266 Hotfix Rollup for Group Policy Preferences Client Side Extensions	重大	0	2	0
11	アクティブ	MS 951847 959209 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 and .NET Framework 3.5 Family Update (All Languages)	重大	0	4	0
12	アクティブ	Microsoft .NET Framework 2.0 SP1 (See Notes) (Rev 3)	重大	1	3	0
13	アクティブ	MS05-007 Security Update for Windows XP (KB888302)	重大	0	5	0
14	アクティブ	MS04-043 Security Update for Windows XP (KB873339)	重大	0	5	0
15	アクティブ	MS04-041 Security Update for Windows XP (KB885836)	重大	0	5	0
16	アクティブ	MS04-044 Security Update for Windows XP (KB885835)	重大	0	5	0
17	アクティブ	MS 953252 (Italian) Prerequisites To Disable Autorun Capabilities in Windows (See Notes)	重大	0	1	0
18	アクティブ	MS 953252 (Spanish) Prerequisites To Disable Autorun Capabilities in Windows (See Notes)	重大	0	1	0
19	アクティブ	MS 953252 (Portuguese-PTB) Prerequisites To Disable Autorun Capabilities in Windows (See Notes)	重大	0	1	0
20	アクティブ	MS 936929 (Portuguese-PTB) Window XP Service Pack 3 (SEE NOTES)	重大	0	1	0
21	アクティブ	MS 953252 (Chinese-CHS) Prerequisites To Disable Autorun Capabilities in Windows (See Notes)	重大	0	1	0
22	アクティブ	MS 936929 (German) Window XP Service Pack 3 (SEE NOTES)	重大	0	1	0
23	アクティブ	MS 953252 (German) Prerequisites To Disable Autorun Capabilities in Windows (See Notes)	重大	0	1	0
24	アクティブ	MS 936929 (French) Window XP Service Pack 3 (SEE NOTES)	重大	0	3	0
25	アクティブ	MS 953252 (French) Prerequisites To Disable Autorun Capabilities in Windows (See Notes)	重大	0	3	0
26	アクティブ	Microsoft (French) .NET Framework 1.1 SP1	重大	0	1	0

パッチの表示

パッチを選択し、[パッチの表示] リンクをクリックすると、そのパッチの詳細が示されたページが表示されます。このページには次の3つのタブがあります。

- ◆ **パッチ適用済み:** このパッチでパッチが適用されたデバイスを表示します。
- ◆ **パッチなし:** このパッチでパッチが適用されていないデバイスをすべて表示します。
- ◆ **情報:** このパッチの詳細情報を表示します。

4.5 パッチ管理 BOE レポート

BOE (Business Objects Enterprise) レポートは、ZENworks Reporting Services (ZRS) を ZENworks 10 Configuration Management にインストールしたユーザのみが利用できます。パッチ管理用には、次の事前定義されたレポートが付属しています。

- ◆ **強制的なベースライン詳細:** 選択した強制的なベースライン内にあるパッチに対して、該当するデバイス名とパッチステータスを表示します。このレポートは、現環境における必須パッチのコンプライアンスレベルを監視および連絡する際にも役立ちます。
- ◆ **強制的なベースライン概要:** パッチに対して、該当するデバイス名とパッチステータスを表示します。さらに、重大度、およびパッチ適用済みデバイスとパッチ未適用デバイスの割合も表示します。
- ◆ **脆弱性分析:** 企業内で該当するパッチの重大度レベルを表示します。さらに、パッチ該当デバイスの数と、パッチ適用済みデバイスの割合も表示します。このレポートは、一定レベルのパッチ適用作業が必要な、さまざまなコンプライアンス事項へのコンプライアンス状態を表示する際に役立つよう設計されています。

注: Linux サーバでは、脆弱性分析および強制的なベースライン概要レポートにはレポートにデータがあっても空白の列が出力されます。データを表示するには、レポートを変更して、テキストの色を **Formatting(書式設定)** ツールバーで黒に設定して、レポートを保存します。これは1回だけ実行する必要があります。

- ◆ **Patch Assessment Report(パッチ評価レポート):** ベンダがリリースしたパッチと、パッチ適用済み、未適用、適用なしデバイスの数を示します。

- ◆ **Patch Release Report(パッチリリースレポート)**: ベンダがリリースしたパッチ数を示します。詳細セクションには、パッチ名とパッチが適用された割合が、影響とベンダ別に示されます。
- ◆ **Top 10 Not Patched Critical Patches(パッチ未適用の重要パッチ上位 10)**: どのデバイスにも適用されていない重大なパッチ (上位 10) を表示します。
- ◆ **Patch Bundle Assignment Summary(パッチバンドル割り当て概要)**
 - ◆ **概要レポート**: パッチ適用済み、未適用、適用なし、およびパッチ割合のステータスを、バンドル名およびパッチ名別に示します。
 - ◆ **詳細レポート**: デバイス、デバイスパッチのステータス、展開状態をバンドルおよびパッチ別に示します。
- ◆ **パッチ分析**
 - ◆ **ダッシュボード**: 選択した展開ステータスおよび影響について、ベンダ別にパッチステータスを示します。
 - ◆ **[詳細] ページ**: パッチ名、リリース日、影響、展開状態、パッチステータスを示します。
- ◆ **Patch Detail Report(パッチ詳細レポート)**: 選択したベンダ、パッチ、影響、パッチステータスのデバイスおよびパッチステータスを示します。

改善の展開ウィザードの使用

改善の展開ウィザードは、複数の受信者やデバイス用にパッチ展開スケジュールを作成または編集するためのインタフェースを提供します。このウィザードを使用すると、デバイスの選択、パッチの展開のスケジュール、および設定の繰り返し(必要な場合)を簡単に行うことができます。[改善の展開ウィザード]には、[デバイス] タブまたは [パッチ管理] タブからアクセスできます。

改善の展開ウィザードで複数のパッチを選択すると、ウィザードは自動的にすべての該当するデバイスとパッケージを選択します。デバイスが選択された場合は、ウィザードは自動的にそのデバイスに適用するすべてのパッチを選択します。グループを選択した場合は、その特定のグループのデバイスに適用可能なすべてのパッチが含まれます。

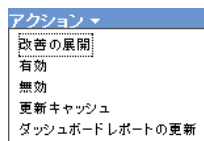
次のセクションでは、ウィザードの各ステップについて詳しく説明します。

- ◆ [49 ページのセクション 5.1 「展開スケジュールの作成」](#)
- ◆ [50 ページのセクション 5.2 「デバイスの確認」](#)
- ◆ [53 ページのセクション 5.3 「使用許諾契約」](#)
- ◆ [54 ページのセクション 5.4 「改善スケジュール」](#)
- ◆ [61 ページのセクション 5.5 「展開順序および動作」](#)
- ◆ [62 ページのセクション 5.6 「改善オプション」](#)
- ◆ [63 ページのセクション 5.7 「詳細修正オプション」](#)
- ◆ [65 ページのセクション 5.8 「インストール前の通知オプション」](#)
- ◆ [67 ページのセクション 5.9 「通知および再起動オプション」](#)
- ◆ [69 ページのセクション 5.10 「展開概要」](#)

5.1 展開スケジュールの作成

1つまたは複数のデバイスに対するパッチの展開スケジュールを作成するには、次の操作を行います。

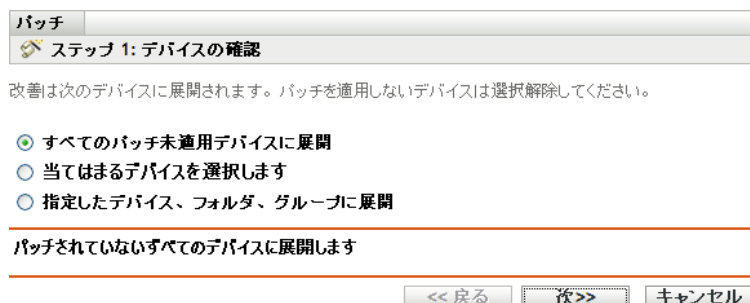
- 1 [パッチ管理] タブをクリックして、1つまたは複数のデバイスに展開するパッチを選択します。
- 2 次の図に示すように、[パッチ] ページの [アクション] メニューから [改善の展開] を選択します。または、[パッチ] ページ左側にある [パッチ管理] ペインの [改善の展開] リンクをクリックすることもできます。



5.2 デバイスの確認

[デバイスの確認] ページでは、展開をスケジュールする必要があるデバイスを選択して確認することができます。選択したパッチに対して展開をスケジュールする最初のステップとして、デバイスの確認を行います。

図 5-1 [デバイスの確認] ページ



ページには選択したパッチが展開されるデバイスの合計数が表示されます。次の例では、2つのデバイスがパッチを受け取ります。

図 5-2 デバイスの合計数

1 - 2/2

[項目の表示] ドロップダウンリストを使用して、ページに表示する項目の合計数を選択できます。

図 5-3 項目の表示



- 1 展開するデバイスを選択して、[次へ] ボタンをクリックして [使用許諾書] ページを開きます。
- 2 次のオプションの1つを選択して、パッチを展開するデバイスを指定します。
 - **すべてのパッチ未適用デバイス**を選択して、パッチ未適用の状態のデバイスにパッチを適用し、[51 ページのセクション 5.2.1 「デバイスの確認: すべてのパッチ未適用デバイス」](#)に進みます。
 - **[当てはまるデバイスを選択します]** を選択して、パッチを特定のデバイスに展開し、[51 ページのセクション 5.2.2 「デバイスの確認: 当てはまるデバイスを選択します」](#)に進みます。
 - **[指定した、デバイス、フォルダ、グループに展開]** を選択して、パッチ未適用の状態の特定のデバイス、フォルダ、またはグループにパッチを展開します。[52 ページのセクション 5.2.3 「デバイスの確認: 指定した、デバイス、フォルダ、グループに展開」](#)に進みます。

5.2.1 デバイスの確認：すべてのパッチ未適用デバイス

このオプションを選択すると、パッチが適用されていないすべてのデバイスにパッチが展開されます。デフォルトではこのオプションが有効になっています。

5.2.2 デバイスの確認：当てはまるデバイスを選択します

[当てはまるデバイスを選択します] を選択すると、次の図のような [デバイスの確認] ページが表示されます。

図 5-4 [当てはまるデバイスを選択します] タイプの [デバイスの確認] ページ

パッチ

ステップ 1: デバイスの確認

改善は次のデバイスに展開されます。パッチを適用しないデバイスは選択解除してください。

- すべてのパッチ未適用デバイスに展開
- 当てはまるデバイスを選択します
- 指定したデバイス、フォルダ、グループに展開

<input type="checkbox"/>	デバイス名	ステータス	プラットフォーム	DNS	IPアドレス
<input checked="" type="checkbox"/>	tpc62ct	オンライン	Windows	TPC62ct	192.168.3.92

1 - 1/1 25 ▼ 項目の表示

<< 戻る 次 >> キャンセル

このオプションを選択すると、デバイス一覧から選択したデバイスにパッチが展開されます。既存のパッチステータスが [パッチ適用済み] であっても [パッチ未適用] であっても、パッチをデバイスに展開できます。

注：パッチを [パッチ管理] ページから展開すると、選択したパッチの [ステータス] フィルタに基づいたデバイスのリストが表示されます。

表 5-1 [デバイスの確認] ページのカラム見出し

カラム見出し	説明
デバイス名	デバイスの名前。
ステータス	デバイスのステータス。ステータスはオフラインまたはオンラインになります。
プラットフォーム	デバイスのオペレーティング システム。
DNS	DNS サーバの名前。
IP アドレス	デバイスの IP アドレス。

5.2.3 デバイスの確認：指定した、デバイス、フォルダ、グループに展開

[指定した、デバイス、フォルダ、グループに展開] を選択すると、次の図のように [デバイスの確認] ページが表示されます。

図 5-5 [指定した、デバイス、フォルダ、グループに展開] タイプの [デバイスの確認] ページ

ステップ 1: デバイスの確認

改善は次のデバイスに展開されます。バッチを適用しないデバイスは選択解除してください。

- すべてのバッチ未適用デバイスに展開
- 当てはまるデバイスを選択します
- 指定したデバイス、フォルダ、グループに展開

追加	削除	
<input type="checkbox"/>	名前	フォルダ内

項目を選択していません。[追加] をクリックして項目を選択します。

<< 戻る 次 >> キャンセル

展開するデバイス、フォルダ、グループを選択するには、次の手順に従います。

- 1 [デバイスの確認] ページの [追加] メニュー項目をクリックします。次のウィンドウが表示されます。

検索対象: /

名前フィルタ: *

項目のタイプ: すべてのタイプ

名前	タイプ
デバイス	フォルダ

25 項目の表示

すべて選択 0 項目選択 すべて削除

OK キャンセル

- 2 ウィンドウの左側の [デバイス] オプションの横の矢印をクリックして、使用できるデバイス、フォルダ、グループを表示します。
- 3 目的のデバイスをクリックして、ウィンドウの右側の [選択済み] パネルに追加します。
または

パネルからデバイスを削除するには、そのデバイスの [削除] 列の [削除] ボタンをクリックします。

4 [OK] をクリックして、デバイスの選択を確定します。

ウィンドウが閉じて、[デバイスの確認] ページに選択内容が表示されます。

デバイスを選択して [削除] メニュー項目をクリックすると、デバイスをリストから削除できます。

5.3 使用許諾契約

[使用許諾書] ページは、選択したパッチに関連付けられているすべてのサードパーティライセンス情報を表示します。選択したパッチに対して展開をスケジュールする 2 番目のステップとして、パッチの使用許諾書を受諾または拒否します。

図 5-6 [使用許諾契約] ページ



受諾する使用許諾契約に対して [受諾] を選択します。使用許諾契約の詳細を表示するには、パッチの名前をクリックします。

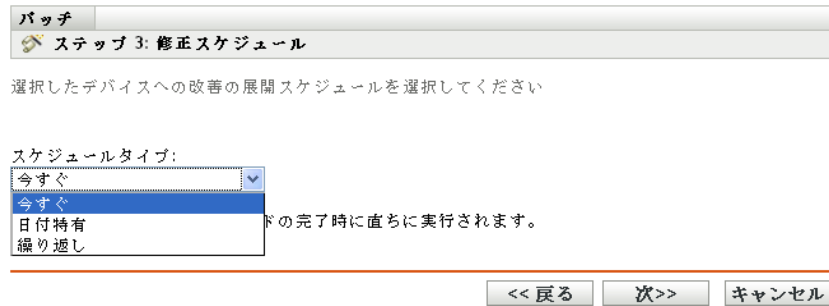
注: 展開ウィザードで続行する前に、すべての使用許諾契約を受諾する必要があります。

[次へ] ボタンをクリックして [改善スケジュール] ページを開きます。[戻る] ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

5.4 改善スケジュール

[修正スケジュール] ページでは、選択したデバイスに対するパッチのスケジュール方法および展開方法を選択できます。選択したパッチに対する展開スケジュールの3番目のステップとして、選択したパッチに対してさまざまな展開オプションを設定します。

図 5-7 [改善スケジュール] ページ



修正スケジュールの設定を開始するには、スケジュールタイプを選択する必要があります。パッチ管理では、実際にいつパッチをターゲットデバイスに適用するかを決定するためのスケジュールタイプが3つ用意されています。

- ◆ [今すぐ] を選択して、改善の展開ウィザードのすべての手順を完了した後に選択したデバイスに即座に展開するようスケジュールします。
- ◆ [日付特有] を選択すると、選択したデバイスへの展開は、選択した日付に従ってスケジュールされます。
- ◆ [繰り返し] を選択すると、選択した日付の選択した時間に展開が開始され、展開が毎日 / 毎週 / 毎月繰り返され、終了日が定義されていれば特定の日付で終了します。

デフォルトでは、[デバイスリフレッシュスケジュール] は、1日に2回に設定されています。テストやデモンストレーションが目的の場合は、頻度を5～15分に1回に増やすことができます。

次のセクションでは、スケジュールタイプについて詳しく説明します。

- ◆ 55 ページのセクション 5.4.1 「修正スケジュール: 今すぐ」
- ◆ 55 ページのセクション 5.4.2 「展開スケジュール: 日付特有」
- ◆ 57 ページのセクション 5.4.3 「改善スケジュール: 繰り返し」

5.4.1 修正スケジュール：今すぐ

[今すぐ] を選択すると、次の図に示すように、[修正スケジュール] ページが表示されます。

図 5-8 [今すぐ] スケジュールタイプの [修正スケジュール] ページ

バッチ

ステップ 3: 修正スケジュール

選択したデバイスへの改善の展開スケジュールを選択してください

スケジュールタイプ:
今すぐ

このスケジュールは、ウィザードの完了時に直ちに実行されます。

<< 戻る 次 >> キャンセル

このページでは、改善の展開ウィザードの残りの手順を完了した後、直接展開をスケジュールできます。

5.4.2 展開スケジュール：日付特有

[日付特有] を選択すると、次の図に示すように、[改善スケジュール] ページが表示されます。

図 5-9 [日付特有] スケジュールタイプの [改善スケジュール] ページ

バッチ

ステップ 3: 修正スケジュール

選択したデバイスへの改善の展開スケジュールを選択してください

スケジュールタイプ:
日付特有

開始日: *

毎年イベントを実行

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

スケジュールの実行が開始される時間を選択:

開始時刻にすぐに実行

開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

開始時刻: 1 : 00 終了時刻: 1 : 00

協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 14:34)

<< 戻る 次 >> キャンセル

このページを使用して、次の展開オプションを設定します。

- ◆ **開始日** : 展開を開始する必要がある日付を選択できます。選択するには、アイコンをクリックしてカレンダーを開き、日付を選択します。選択した日付を削除するには、 アイコンをクリックします。

- ◆ **毎年イベントを実行** : 選択した日付の選択した時間に展開が開始され、毎年繰り返され、終了日が定義されていれば特定の日付で終了します。
- ◆ **デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する** : 選択したスケジュールでデバイスを実行できなかった場合に、展開を即座に開始するようにします。
- ◆ **スケジュールの実行が開始される時間を選択** : スケジュール実行の開始時刻を選択するには、次の2つのオプションがあります。
 - ◆ **開始時刻にすぐに実行** : [終了時刻] パネルを非アクティブにして、指定した開始時刻で展開を開始します。このオプションでは、[開始時刻] パネルで開始時刻を設定する必要があります。

開始時刻: 1 :00

- ◆ **開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始** : [開始時刻] パネルの隣の [終了時刻] パネルをアクティブ化します。開始時刻と終了時刻を、展開がその間の時刻でランダムに開始するように指定することができます。[終了時刻] パネルの表示は次のようになります。

終了時刻: 1 :00

いずれの時刻パネルでも、最初のドロップダウンリストで時間を選択できます。2番目のドロップダウンリストでは分を、3番目のドロップダウンリストでは午前または午後を選択できます。

[協定世界時(UTC)を使用] チェックボックスをオンにすると、タイムゾーンの違いにかかわらず、すべてのデバイスの展開を同時にスケジュールできます。協定世界時(UTC) (世界時間)、Z時間またはズールー時間は、ローカルタイムゾーンに依存しない標準時間値です。UTCをオフにすると、配布はローカル時間でスケジュールされます。

[次へ] ボタンをクリックして [展開順序および動作] ページを開きます。[戻る] ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

5.4.3 改善スケジュール：繰り返し

[繰り返し] を選択すると、次の図に示すように、[改善スケジュール] ページが表示されます。

図 5-10 [繰り返し] スケジュールタイプの [改善スケジュール] ページ

スケジュールタイプ:
繰り返し

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 0 日 0 時間 0 分

曜日
日 月 火 水 木 金 土

開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

月
 日付: 1
 月の最終日
 最初 日曜日
開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

固定間隔
0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
開始日: 2010/04/16 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

<< 戻る 次 >> キャンセル

注: デフォルトでは、バンドルのインストール頻度は [デバイスにつき 1 回インストール] に設定されています。繰り返しの展開の場合は、[常にインストール] に変更します。

スケジュールを変更する

- 1 特定のパッチバンドル割り当ての [アクション] タブをクリックします。
- 2 [オプション] をクリックします。これによって [インストールオプション] ウィンドウが開きます。
- 3 [常にインストール] を選択して [OK] をクリックします。
- 4 [適用] をクリックします。

このページでは、繰り返し展開の次のオプションを設定できます。

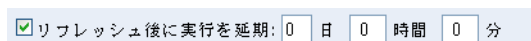
- ◆ 58 ページの「デバイスのリフレッシュ時」
- ◆ 58 ページの「曜日」
- ◆ 59 ページの「月」
- ◆ 60 ページの「固定間隔」

デバイスのリフレッシュ時

このオプションでは、デバイスがリフレッシュされるたびに繰り返し展開を行うようにスケジュールできます。このオプションでは、次の展開を指定した時刻まで遅延するように選択できます。

遅延を設定するには、次の図に示すように、[更新後に実行を延期] チェックボックスをオンにして、展開を遅延する日数、時間、分を指定します。

図 5-11 [リフレッシュ後に実行を延期] チェックボックス



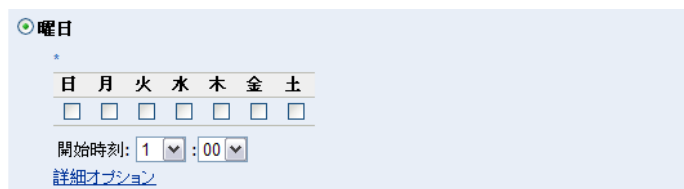
リフレッシュ後に実行を延期: 0 日 0 時間 0 分

注: デバイスは [環境設定] タブの [デバイス管理] タブに示されている設定に基づいてリフレッシュされます。[デバイス管理] タブの [デバイスの更新スケジュール] リンクをクリックして、[手動の更新] または [スケジュールされた更新] のどちらかのオプションが表示されるページを開きます。または、[デバイス] タブからデバイスを選択し、[クイックタスク] メニューの [デバイスのリフレッシュ] オプションをクリックして、デバイスをリフレッシュできます。

曜日

このオプションでは、選択した曜日に展開をスケジュールできます。

図 5-12 週次展開オプション- デフォルト



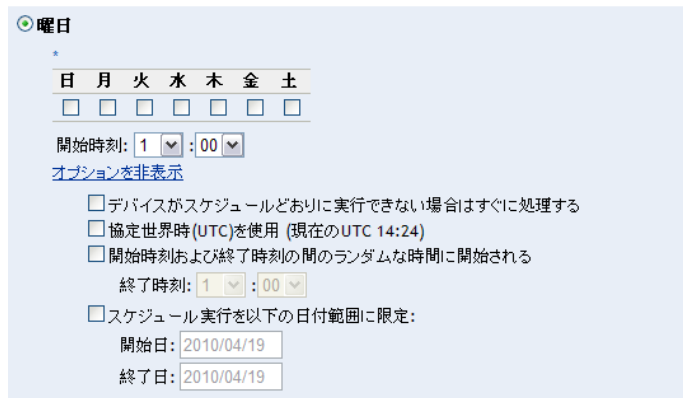
● 曜日

日 月 火 水 木 金 土

開始時刻: 1 :00

[詳細オプション](#)

- ◆ 展開日を設定するには、[曜日] ボタンを選択して目的の曜日をオンにし、展開の開始時刻を設定します。[詳細オプション] リンクをクリックすると、次の図に示すように、追加の展開オプションが表示されます。[オプションを非表示] リンクをクリックすると、追加の展開オプションが非表示になり、デフォルトの展開オプションのみが表示されます。



● 曜日

日 月 火 水 木 金 土

開始時刻: 1 :00

[オプションを非表示](#)


- デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する
- 協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 14:24)
- 開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

終了時刻: 1 :00

- スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:
開始日: 2010/04/19
終了日: 2010/04/19

[協定世界時(UTC)を使用] チェックボックスをオンにすると、タイムゾーンの違いにかかわらず、すべてのデバイスの展開を同時にスケジュールできます。協定世界時(UTC)(世界時間)、Z時間またはズールー時間は、ローカルタイムゾーンに依存しない標準時間値です。UTCをオフにすると、配布はローカル時間でスケジュールされます。

[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] チェックボックスをオンにすると、[開始時刻] パネルのほかに [終了時刻] パネルも有効になります。開始時刻と終了時刻を、その間のランダムな時刻に展開が開始するように指定することができます。

[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] オプションを使用すると、選択した時刻に繰り返し展開をスケジュールし、指定した日付に展開を繰り返し、定義すれば特定の時刻に終了させることができます。このオプションを利用して、展開を開始時刻と終了時刻の間に限定することもできます。このオプションを設定するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] チェックボックスをオンにして、 アイコンをクリックしてカレンダーを開き、開始日または終了日を選択します。日付の選択が終了したら、[閉じる] ボタンをクリックします。

月


このオプションを使用すると、月次展開オプションを指定できます。

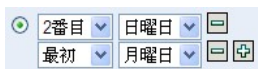
図 5-13 月次展開オプション- デフォルト




- ◆ [月次] 展開オプションでは、次を指定できます。
 - ◆ 日付: 毎月特定の日に展開をスケジュールできます。1～31の任意の日を指定できます。
 - ◆ 月末: 月末に展開をスケジュールできます。
 - ◆ 月の特定日: 毎月特定の日に展開をスケジュールできます。日付の有効なオプションは、1日、2日、3日、4日、および5日、週日の有効なオプションは、日曜日から土曜日です。月の特定の1日を選択するには、ドロップダウン矢印を使用します。次に例を示します。



その月の別の日付を選択するには、 アイコンをクリックし、次に示すように、2行目にあるドロップダウン矢印を使用します。



注: リストから特定の日を削除するには、 アイコンをクリックします。

[詳細オプション] リンクをクリックすると、次の図に示すように、追加の展開オプションが表示されます。[オプションを非表示] リンクをクリックすると、追加の展開オプションが非表示になり、デフォルトの展開オプションのみが表示されます。

月

日付: 1

月の最終日

最初 日曜日

開始時刻: 1 :00

[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

協定世界時(UTC)を使用(現在のUTC 12:49)

開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

終了時刻: 1 :00

スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:

開始日: 2010/04/19

終了日: 2010/04/19

注: [スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] オプションを使用すると、選択した時刻に繰り返し展開をスケジュールし、指定した日付に展開を繰り返し、定義すれば特定の時刻に終了させることができます。このオプションを利用して、展開を [開始時刻] と [終了時刻] の間に限定することもできます。このオプションを設定するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] チェックボックスをオンにし、 アイコンをクリックしてカレンダーを開き、開始日または終了日を選択します。日付の選択が終了したら、[閉じる] ボタンをクリックします。

固定間隔

このオプションでは、固定された間隔後に実行される定期的な繰り返し展開をスケジュールすることができます。次の図に示すように、間隔の月数、週数、日数、時間数、分数、および展開スケジュールの開始日を選択できます。

図 5-14 固定間隔展開オプション- デフォルト

固定間隔

0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分

開始日: 2010/04/21 開始時刻: 1 :00

[詳細オプション](#)

[詳細オプション] リンクをクリックすると、次の図に示すように、追加の展開オプションが表示されます。[オプションを非表示] リンクをクリックすると、追加の展開オプションが非表示になり、デフォルトの展開オプションのみが表示されます。

図 5-15 固定間隔展開オプション-すべて

5.5 展開順序および動作

改善の展開ウィザードの [展開順序および動作] ページでは、それぞれの展開スケジュールに対する順序と動作を設定できます。選択したパッチに対して展開の順序と動作を設定することが、選択したパッチに対する展開をスケジュールする 4 番目のステップです。

図 5-16 [展開順序および動作] ページ



[展開順序および動作] ページの特徴は次のとおりです。

- ◆ **パッケージ名** : 展開用に選択されているパッチの名前。
- ◆ **順序** : 展開の実行順序。カラム見出しの隣に表示される矢印を使用して昇順または降順にソートできます。
- ◆ **再起動** : 該当するパッチに適用される再起動設定。

次の表は、[展開順序および動作] ページ内のさまざまなボタンのアクションについて説明しています。

表 5-2 [展開順序および動作] ページ内のボタン

ボタン	アクション
	パッチをすべての非チェーン展開の一番上に移動します。
	パッチを 1 つ上に移動します。

ボタン	アクション
	パッチを1つ下に移動します。
	パッチをリストの一番下に移動します。

注：チェーンパッチはチェーンステータスを削除した後に移動できます。

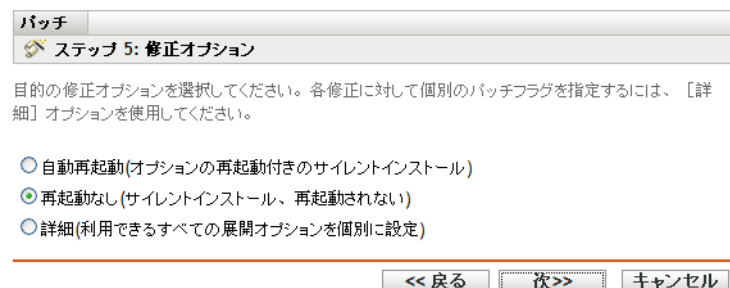
[次へ] ボタンをクリックして [改善オプション] ページを開きます。[戻る] ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

5.6 改善オプション

[改善オプション] ページを使用すると、各展開スケジュールに必要な改善オプションを選択できます。選択したパッチに対する展開をスケジュールする5番目のステップとして、選択したパッチに対して展開オプションを設定します。

注：[詳細] オプションを使用すると、各改善に対して個別のパッチフラグを指定できます。

図 5-17 [改善オプション] ページ



次の表は、[改善オプション] ページで使用可能なオブジェクトの機能について説明しています。

表 5-3 修正オプション

改善オプション	機能
自動再起動 (任意で再起動を行ってサイレントインストール)	QChain が有効になっている状態で、可能なすべてのパッチを展開するように自動的に設定します。管理者は、それぞれのパッチに定義されている QChain (http://articles.techrepublic.com.com/5100-10878_11-1048774.html) および再起動設定を使用して、必要に応じてパッチ展開フラグを設定できます。
再起動なし (再起動を行わずにサイレントインストール)	QChain が有効になっている状態で、可能なすべてのパッチを展開するように自動的に設定します。必要なすべての再起動は、手動で実行する必要があります。

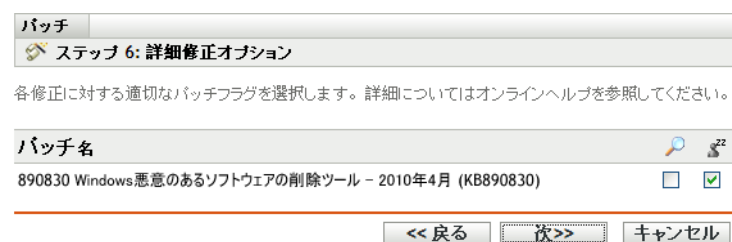
改善オプション	機能
詳細 (可能なすべての展開オプションを個別に設定)	管理者は、それぞれのパッチに定義されている QChain および再起動設定を使用して、必要に応じてパッチ展開フラグを設定できます。

[次へ] ボタンをクリックして [詳細修正オプション] ページを開きます。[戻る] ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

5.7 詳細修正オプション

[詳細修正オプション] ページでは、各修正に対するパッチフラグを設定することができます。選択したパッチに対して展開をスケジュールする 6 番目のステップとして、選択したパッチに対してパッチフラグを設定します。このページに表示されるアイコンは、各パッケージに設定可能なパッチフラグを表します。

















図 5-18 [詳細修正オプション] ページ



次の表は、[詳細修正オプション] ページ内の各アイコンの機能について説明しています。

表 5-4 [詳細修正オプション] ページ

アイコン	名前	機能
	アンインストール	パッケージをアンインストールします。
	強制終了	パッケージによって再起動が実行される場合は、すべてのアプリケーションを強制的に閉じます。
	バックアップしない	アンインストール時にファイルをバックアップしません。
	再起動の抑止	パッケージのインストールの後にコンピュータが再起動しないようにします。
	省略モード	省略モードで機能するようにインストーラを設定します。省略モードでは、改善中にユーザインタフェース (ユーザがログインしている場合) がすべて抑制されます。
	無人セットアップ	無人セットアップモードでパッケージをインストールします。
	ホットフィックスのリスト	ターゲットのコンピュータにインストールされているホットフィックスのリストを返します。

アイコン	名前	機能
	再起動の強制	パッケージ要件に関係なくコンピュータを強制的に再起動します。
	再起動が必要	このパッケージではインストールを完了するために再起動が必要なことを示します。 このオプションを選択すると、特定のバンドルで再起動が必要なくてもデバイスは再起動されます。
	チェーンパッケージ	パッケージをチェーン可能として設定します (パッケージでチェーンがサポートされている場合)。 このリリースでは、このオプションを変更することはできません。パッケージは常に [チェーン] オプションを使用してインストールされます。
	チェーン再起動の抑制	再起動を抑制し、他のチェーンパッケージをこのパッケージの後に送信できるようにします。 すべてのチェーンパッケージの最後の再起動を抑制してから、すべてのパッケージの完了時に再起動展開を送信する必要があります。
	ファイル許可の修復	パッケージインストールの後にファイルの権限を修復します。
	ダウンロードのみ	パッケージインストールスクリプトを実行せずにパッケージを配布します。
	通知の抑制	インストール中にユーザへの通知をすべて抑制します。
	デバッグモード	パッケージインストールをデバッグモードで実行します。
	許可を修復しない	再起動の後に、ファイル名パーミッションの修復を抑制します。
	再起動の許可	必要に応じてパッケージの強制再起動を許可します。
	複数ユーザモード	マルチユーザモードでインストールを実行します。
	単一ユーザモード	シングルユーザモードでインストールを実行します。
	サービスの再開	展開後にサービスを再開します。
	サービスを再開しない	展開後にサービスを再開しません。
	再環境設定	展開後にシステム再設定タスクを実行します。
	再環境設定しない	展開後にシステム再設定タスクを実行しません。

注：選択したパッチのタイプに応じて、63 ページの 図表 5-4 に表示されるアイコンはダイナミックに変化します。このため、テーブルに示したオプションの一部を選択できない場合があります。

[次へ] ボタンをクリックして [インストール前の通知オプション] ページを開きます。
[戻る] ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

5.8 インストール前の通知オプション

改善の展開ウィザードの [インストール前の通知オプション] ページでは、パッチがダウンロードされてインストールされたときにユーザが通知を受信するかどうかを定義し、通知をカスタマイズできます。選択したパッチに対する展開をスケジュールする 7 番目のステップとして、通知を設定し、ユーザによるキャンセルを許可します。

図 5-19 [インストール前の通知オプション] ページ

The screenshot shows the 'Patch' wizard interface. At the top, it says 'ステップ 7: インストール前の通知オプション'. Below this, there are several sections:

- インストール前の通知オプションの定義**:
 - システム変数に割り当てられた値またはデフォルトを使用する
 - 設定の上書き
- ユーザにパッチのインストールを通知する
 - ダウンロード前のプロンプト
 - インストール前のプロンプト
- A text box containing: 'パッチのダウンロードとインストールの準備ができました。追加の情報が必要である場合は、Novell ZENworks Patch Management 管理者に連絡してください。'
- オプション**:
 - ユーザによるキャンセルを許可: はい いいえ
 - インストール前にダイアログを表示する時間: はい いいえ, value: 120 秒
 - ユーザによるスヌーズを許可: はい いいえ, value: 0 日 2 時間 0 分

At the bottom, there are navigation buttons: '<< 戻る', '次 >>', and 'キャンセル'.

このページには次のオプションがあります。

- ◆ **ユーザにパッチのインストールを通知する**：このオプションを使用して、このパッチをインストールする前にユーザに通知します。次の 2 つのオプションが存在します。
 - ◆ **ダウンロード前のプロンプト**：パッチダウンロードプロセスの開始時にユーザに通知するにはこのオプションを選択します。
 - ◆ **インストール前のプロンプト**：パッチインストールプロセスの開始時にユーザに通知するにはこのオプションを選択します。
- ◆ **メッセージボックス**：通知メッセージのテキスト。

- ◆ **システム変数に割り当てられた値またはデフォルトを使用する**：このオプションを選択して、各エージェントにデフォルト設定を使用します。このオプションはその他のすべてのインストールおよび通知オプションを無効にします。

ヒント：システム変数またはデフォルトは、インストール前の通知オプションなど、エージェント設定をプロパティファイル内でシステムレベルで設定するよう定義されています。[システム変数に割り当てられた値またはデフォルトを使用する] オプションを選択した場合、現在のエージェントの設定は直接システム変数またはデフォルトから取得されます。選択しなかった場合は、ユーザがカスタマイズした設定が現在のエージェントにのみ適用されます。

次の表は、インストール前の通知オプションのシステム変数またはデフォルトを示します。

システム変数	変数の値
ユーザにパッチのインストールを通知する	未選択
ダウンロード前のプロンプト	未選択
インストール前のプロンプト	選択済み
Message box of Patch Install(パッチインストールのメッセージボックス)	パッチのダウンロードおよびインストールを開始する準備ができています。追加の情報が必要である場合は、Novell ZENworks Patch Management 管理者に連絡してください。
ユーザによるキャンセルを許可	いいえ
インストール前にダイアログを表示する時間	いいえ 120 秒
ユーザによるスヌーズを許可	はい 0 日、2 時間、0 分

- ◆ **上書き設定**：このオプションを選択して、ユーザが各エージェントに選択した設定を使用します。このオプションを選択すると、その他すべての通知オプションが有効になり、デフォルト設定を編集できるようになります。
- ◆ **オプション**：インストールオプションを定義しているときに、デフォルト設定の値を使用するか（[システム変数に割り当てられた値またはデフォルトを使用する] チェックボックスを選択）、またはカスタム設定を使用するかを指定することができます。次のように、3つのオプションがあります。
 - ◆ **ユーザによるキャンセルを許可**：ユーザはインストールをキャンセルできます。
 - ◆ **インストール前にダイアログを表示する時間**：パッチをダウンロードするかインストールするかユーザが選択する秒数。
 - ◆ **ユーザによるスヌーズを許可**：このオプションは、ユーザがインストールをスヌーズできるようにします。

[次へ] ボタンをクリックして [通知および再起動オプション] ページに進みます。[戻る] ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

5.9 通知および再起動オプション

改善の展開ウィザードの [通知および再起動オプション] ページを使用すると、ユーザがパッチの展開と再起動の通知を受信するかどうかを定義して、通知をカスタマイズできます。パッチに対する展開をスケジュールする 8 番目のステップとして、選択したパッチに対する通知および再起動オプションを設定します。

図 5-20 [通知および再起動オプション] ページ

パッチ

ステップ 8: 通知および再起動オプション

通知オプションと再起動オプションの選択

再起動オプションの定義

システム変数に割り当てられた値またはデフォルトを使用する
 設定の上書き

ユーザに通知する

コンピュータでパッチのインストールを完了するには、再起動が必要です。追加の情報が必要である場合は、Novell ZENworks Patch Management 管理者に連絡してください。

オプション

再起動の抑止 はい いいえ

ユーザによるキャンセルを許可 はい いいえ

再起動前にダイアログを表示する時間 はい いいえ 120 秒

ユーザによるスヌーズを許可 はい いいえ 0 日 2 時間 0 分

<< 戻る 次 >> キャンセル

このページには次のオプションがあります。

- ◆ ユーザにパッチのインストールを通知する：このオプションを使用して、パッチをインストールする前にユーザに通知します。
- ◆ メッセージボックス：通知メッセージのテキスト。
- ◆ システム変数に割り当てられた値またはデフォルトを使用する：このオプションを選択して、各エージェントにデフォルト設定を使用します。このオプションはその他すべての再起動通知オプションを無効にします。

次の表は、通知と再起動オプションのシステム変数またはデフォルトを示します。

システム変数	変数の値
ユーザにパッチのインストールを通知する	選択済み
Message box of Patch Install(パッチインストールのメッセージボックス)	コンピュータへのパッチのインストールを完了するには、今すぐ再起動する必要があります。追加の情報が必要である場合は、Novell ZENworks Patch Management 管理者に連絡してください。
再起動の抑止	いいえ
ユーザによるキャンセルを許可	いいえ

システム変数	変数の値
再起動前にダイアログを表示する時間	いいえ 120 秒
ユーザによるスヌーズを許可	はい 0 日、2 時間、0 分

- ◆ **上書き設定**：このオプションを選択して、ユーザが各エージェントに選択した設定を使用します。このオプションを選択すると、その他すべての通知オプションが有効になり、デフォルト設定を編集できるようになります。
- ◆ **オプション**：再起動オプションを定義しているときに、デフォルト設定の値を使用するか（[システム変数に割り当てられた値またはデフォルトを使用する] チェックボックスを選択）、またはカスタム設定を使用するかを指定することができます。オプションは4つあります。
 - ◆ **再起動の抑止**：パッチバンドルで再起動が要求される場合でも、再起動を抑制します。
 - ◆ **ユーザによるキャンセルを許可**：ユーザが再起動をキャンセルできるようにします。
 - ◆ **再起動前にダイアログを表示する時間**：ユーザがパッチのインストール後に再起動するかどうかを選択できる秒数。
 - ◆ **ユーザによるスヌーズを許可**：ユーザーが再起動をスヌーズできるようにします。

[次へ] ボタンをクリックして [展開概要] ページを開きます。[戻る] ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

5.10 展開概要

改善の展開ウィザードの [展開概要] ページは、前のステップでスケジュールした展開の概要が表示されます。選択したパッチの展開をスケジュールする 9 番目の、そして最後のステップとして、展開の重要なポイントをまとめます。

図 5-21 [展開概要] ページ

パッチ

ステップ 9: 展開概要

概要を確認して [完了] を押します。

プロパティ名	詳細
スケジュール	繰り返し
選択したパッケージ合計数	6

順序	パッケージ名	再起動
1	Adobe APSB09-19 Flash Player 10.0.42.34 for IE (フルインストーラ) (全言語)	はい
2	Adobe Flash Player 9.0.r262 for IE (フルインストーラ) (全言語) (注参照)	いいえ
3	Adobe Flash Player 10.0.45.2 for IE (フルインストーラ) (全言語) (注参照)	いいえ

<< 戻る 完了 キャンセル

[展開概要] ページには、スケジュールした展開に関する次の詳細が表示されます。

- ◆ **スケジュール**：[改善スケジュール] ページで定義されている、展開に対して選択されたスケジュールです。
- ◆ **選択したパッケージ合計数**：展開に選択されたパッチの合計数。
- ◆ **順序**：[展開順序および動作] ページで定義されているパッチの展開順序です。
- ◆ **パッケージ名**：展開用に選択したパッチの名前です。
- ◆ **再起動**：[展開順序および動作] ページで定義されている、選択されたパッチの再起動設定です。

[終了] ボタンをクリックして、選択したパッチの展開のスケジュールプロセスを完了します。[戻る] ボタンをクリックすると前のページに戻ることができます。ウィザードを中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

強制的なベースラインの使用

強制的なベースラインを設定することにより、デバイスグループを確実に保護し、グループ内のすべてのデバイスに一貫して確実にパッチが適用されます。

- ◆ 71 ページのセクション 6.1 「強制的なベースラインについて」
- ◆ 75 ページのセクション 6.2 「強制的なベースラインの使用」

6.1 強制的なベースラインについて

強制的なベースラインは、デバイスグループに対するユーザ定義のコンプライアンスレベルです。デバイスがコンプライアンスを満たしていない場合、強制的なベースラインにより、デバイスにパッチを適用してコンプライアンス状態に戻します。

重要: 強制的なベースラインは、最新の検出スキャン結果に基づいた自動適用方法であるため、この方法で適用されるパッチの展開時間や順序を制御することはできません。厳しいコンテンツ停止スケジュールが有効になっていない限り、予定外のパッチ展開によって日常業務に支障が出る可能性がある場合は、ミッションクリティカルサーバまたは他のデバイスのグループに必須ベースラインを適用しないでください。

[コンテンツ停止スケジュール] パネルを使用すると、コンテンツ (バンドル、ポリシー、設定など) をデバイスに配布しない時間を定義することができます。

強制的なベースラインが作成または修正された場合:

- ◆ ZENworks[®] Server は、グループ内のすべてのデバイスに対して毎日自動的に Discover Applicable Updates (DAU) タスクをスケジュールします。
- ◆ 数時間ごとに、ZENworks サーバは DAU タスクの結果によってどのデバイスが該当し、コンプライアンスから外れているかを判別します (ベースラインに追加されたパッチに基づく)。
- ◆ ベースラインの定義に従って、必要なバンドルが直ちに各デバイスに展開されます。
- ◆ パッチの展開後、デバイスをパッチ適用済みとして検出させるには、デバイスを再起動する必要があります。

ベースラインの機能では、パッチ適用済みのデバイスは自動再起動されません。

注: MDAC および IE などのパッチを完了するには、再起動と管理者レベルでのログインが必要です。これらのパッチまたは同様のパッチがベースラインに追加されたら、ログインが行われるまで展開は停止されます。

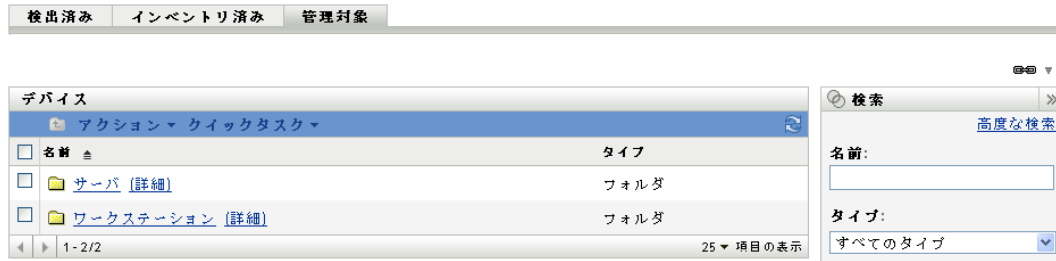
次のセクションでは、強制的なベースラインについて詳しく説明します。

- ◆ 71 ページのセクション 6.1.1 「強制的なベースラインの表示」
- ◆ 74 ページのセクション 6.1.2 「[強制的なベースライン] ページの使用」

6.1.1 強制的なベースラインの表示

- 1 左パネルの [デバイス] タブをクリックします。

次の図に示すように、各デバイスタイプのルートフォルダが表示されたページが表示されます。



[サーバ] フォルダはすべての管理対象サーバのルートフォルダであり、[ワークステーション] フォルダはネットワーク内のすべての管理対象ワークステーションのルートフォルダです。

2 [サーバ] または [ワークステーション] リンクをクリックします。

オペレーティングシステムに基づいて分類されたサーバまたはワークステーショングループのリストが表示されます。次の図は、サーバグループのリストの例を示しています。

[デバイス](#) > [サーバ](#)



- 3 [サーバ] または [ワークステーション] ページ (この場合は [サーバ] ページ) で任意のグループを選択します。

グループの一般的な詳細とグループ内のメンバーを示したページが表示されます。次の図は、[Windows Server 2003] という動的サーバグループを選択したときに表示されるページを示しています。

デバイス > サーバ > Windows Server 2003

Windows Server 2003

概要 関係 詳細 **パッチ**

全般

オブジェクトタイプ:	ダイナミックサーバグループ
GUID:	f50f6cd1358d6dc11ea4369aad5a7df7
説明: 編集	Windows Server 2003 Group

メンバー

名前	フォルダ内
xxx	/デバイス/サーバ
zpm2k3ssp1	/デバイス/サーバ

1-2/2 5項目の表示

メンバー変更ログ

日付	追加されました	は削除されました
15:17	1	0
0:00	1	0

1-2/2 5項目の表示

- 4 [パッチ] タブをクリックします。

選択したグループのメンバーデバイスに該当するパッチが表示されます。選択したグループが「Windows Server 2003」の場合、次の図に示すように、「[パッチ]」タブには「Windows Server 2003」内のメンバーデバイスに該当するすべてのパッチが表示されます。



ベースラインに割り当てられたパッチ (強制的なベースラインパッチ) には、上の図に示すように、その名前横にアイコンが表示されます。

ベースラインパッチは、「[パッチ]」ページの「[検索]」パネルを使用して強制的なベースラインパッチを検索することによって表示することもできます。

[パッチ] および [パッチ情報] パネルの詳細については、31 ページの第 4 章「[パッチ管理] タブの使用」を参照してください。

6.1.2 [強制的なベースライン] ページの使用

[強制的なベースライン] ページの「[検索]」パネルを使用してベースラインパッチを表示することができます。

図 6-1 に示すように、「[デバイスグループパッチ]」ページの「[検索]」パネルで、強制的なベースラインパッチを検索できます。「[検索]」パネルでは、パッチのステータスおよび影響に基づいて別のパッチを検索することもできます。

図 6-1 強制的なベースライン検索

検索

検索

リセット

ステータス

パッチ適用済み

パッチ未適用

適用なし

無効を含める

影響

重大

推奨

情報

ソフトウェアインストーラ

ベンダ

キャッシュステータス

強制的なベースライン

すべてのパッチ

ベースラインのみ

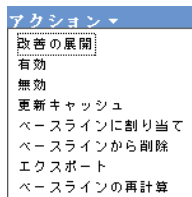
強制的なベースラインパッチは、次のフィルタオプションに基づいて検索することができます。

- ◆ **すべてのパッチ**：強制的なベースライン項目を含む、すべてのパッチを表示します。
- ◆ **ベースラインのみ**：グループの「強制的なベースライン」とマークされたパッチのみを表示します。

6.2 強制的なベースラインの使用

[デバイスグループパッチ] ページの [アクション] パネルでは、強制的なベースラインパッチに関するさまざまなアクションを実行することができます。また、[アクション] メニューオプションは、グループ全体で一貫した同じ方法でパッチを管理および展開する際にも役立ちます。次の図は、強制的なベースラインを使用する際に役立つさまざまなメニューオプションを示しています。

図 6-2 [アクション] メニュー項目



- ◆ **[改善の展開]** オプションを使用すると、パッチを展開することができます。このオプションを使用するには、展開する必要があるパッチのチェックボックスをオンにして、[アクション] メニューオプションから [改善の展開] を選択し、[改善の展開] ウィザードを開きます。
- ◆ **[有効]** オプションを使用すると、無効になっているパッチを有効にすることができます。

- [無効] オプションを使用すると、パッチを無効にすることができます。このオプションを使用するには、必要なパッチのチェックボックスをオンにして [無効] を選択します。選択したパッチがリストから削除されます。
- [更新キャッシュ] オプションを使用すると、選択したパッチに関連するバンドルのダウンロード処理を開始して ZENworks サーバにキャッシュします。詳細については、79 ページのセクション 6.2.3 「[更新キャッシュ] の使用」を参照してください。
- [ベースラインに割り当て] オプションを使用すると、パッチにベースラインを割り当てることができます。詳細については、76 ページのセクション 6.2.1 「強制的なベースラインの割り当てまたは管理」を参照してください。
- [ベースラインから削除] オプションを使用すると、パッチをベースラインから削除することができます。詳細については、78 ページのセクション 6.2.2 「強制的なベースラインの削除」を参照してください。
- [エクスポート] オプションを使用すると、すべてのパッチのステータスや影響などの詳細をカンマ区切り値 (CSV) ファイルにエクスポートできます。ファイルをダウンロードオプションから開いて、別のファイル形式でファイルを保存するよう選択することができます。
- [ベースラインの再計算] オプションで、通常 4 時間ごとに自動的に実行されるスレッドを開始できます。これにより、4 時間待機しなくても、関連デバイスへのベースライン展開が作成されます。

次のセクションでは、強制的なベースラインについて詳しく説明します。

- 76 ページのセクション 6.2.1 「強制的なベースラインの割り当てまたは管理」
- 78 ページのセクション 6.2.2 「強制的なベースラインの削除」
- 79 ページのセクション 6.2.3 「[更新キャッシュ] の使用」

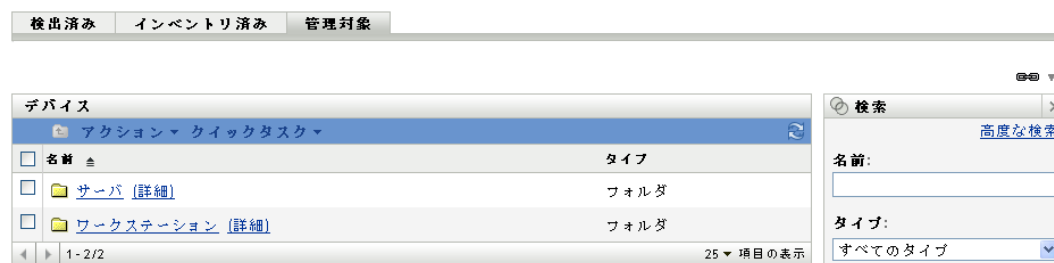
6.2.1 強制的なベースラインの割り当てまたは管理

強制的なベースラインはグループにのみ適用することができ、各グループには 1 つの強制的なベースラインのみ適用可能です。ただし、1 つのデバイスは複数グループのメンバーになることができるため、それぞれに異なる強制的なベースラインを適用できます。

強制的なベースラインを作成または管理する

- 1 左パネルの [デバイス] タブをクリックします。

次の図に示すように、各デバイスタイプのルートフォルダが表示されたページが表示されます。



[サーバ] フォルダはすべての管理対象サーバのルートフォルダであり、[ワークステーション] フォルダはネットワーク内のすべての管理対象ワークステーションのルートフォルダです。

2 [サーバ] または [ワークステーション] リンクをクリックします。

オペレーティングシステムに基づいて分類されたサーバまたはワークステーショングループのリストが表示されます。次の図は、サーバグループのリストの例を示しています。

デバイス > サーバ

ステータス	名前	タイプ	オペレーティングシステム	最近の連絡	使用停止
<input type="checkbox"/>	Windows 2000 Servers	ダイナミックサーバグループ			
<input type="checkbox"/>	Windows Server 2003	ダイナミックサーバグループ			
<input type="checkbox"/>	Windows Server 2008	ダイナミックサーバグループ			
<input type="checkbox"/>	Windows Server 2008 R2	ダイナミックサーバグループ			
<input type="checkbox"/>	linux-zcm	サーバ	sles-11-i586	12:02	

3 [サーバ] または [ワークステーション] ページ (この場合は [サーバ] ページ) で任意のグループを選択します。

グループの一般的な詳細とグループ内のメンバーを示したページが表示されます。次の図は、[Windows Server 2003] という動的サーバグループを選択したときに表示されるページを示しています。

デバイス > サーバ > Windows Server 2003

名前	フォルダ内
xxx	/デバイス/サーバ
zpm52k3ssp1	/デバイス/サーバ

日付	追加されました	は削除されました
15:17	1	0
0:00	1	0

4 必要なパッチを選択して、[アクション] メニューから [ベースラインに割り当て] オプションを選択します。パッチの横にアイコンが表示され、ベースラインに割り当てられたことが示されます。

パッチがベースラインに割り当てられた後、次のプロセスが実行されます。

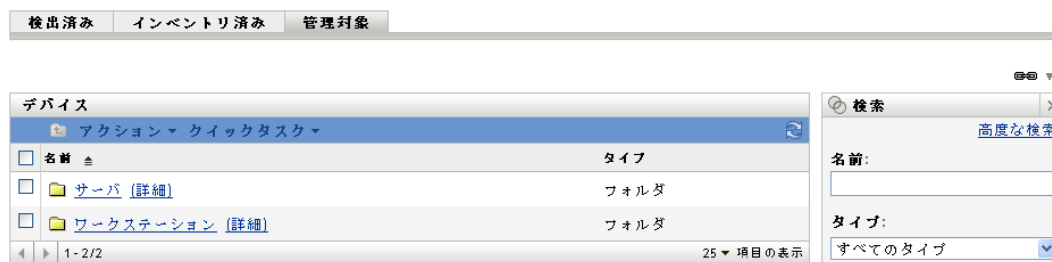
1. ZENworks[®] サーバは、グループ内のすべてのデバイスに対して自動的に Discover Applicable Updates タスクをスケジュールします。
2. 数時間ごとに、ZENworks サーバは DAU タスクの結果によってどのデバイスが該当し、コンプライアンスから外れているかを判別します (ベースラインに追加されたパッチに基づく)。

3. ベースラインの定義に従って、必要なバンドルが直ちに各デバイスに展開されます。
4. パッチの展開後、デバイスをパッチ適用済みとして検出させるには、デバイスを再起動する必要があります。

注: ベースラインの機能では、パッチ適用済みのデバイスは自動再起動されません。

6.2.2 強制的なベースラインの削除

- 1 左のパネルの [デバイス] タブをクリックして [デバイス] ページを表示し、デバイスの各タイプのルートフォルダを表示します。



[サーバ] フォルダはすべての管理対象サーバのルートフォルダであり、[ワークステーション] フォルダはネットワーク内のすべての管理対象ワークステーションのルートフォルダです。

- 2 [サーバ] または [ワークステーション] リンクをクリックします。

オペレーティングシステムに基づいて分類されたサーバまたはワークステーショングループのリストが表示されます。次の図は、サーバグループのリストの例を示しています。

[デバイス](#) > [サーバ](#)

ステータス	名前	タイプ	オペレーティングシステム	最近の連絡	使用停止
<input type="checkbox"/>	Windows 2000 Servers	ダイナミックサーバグループ			
<input type="checkbox"/>	Windows Server 2003	ダイナミックサーバグループ			
<input type="checkbox"/>	Windows Server 2008	ダイナミックサーバグループ			
<input type="checkbox"/>	Windows Server 2008 R2	ダイナミックサーバグループ			
<input type="checkbox"/>	linux-zcm	サーバ	sles-11-i586	12:02	

- 3 [サーバ] または [ワークステーション] ページ (この場合は [サーバ] ページ) で任意のグループを選択します。

グループの一般的な詳細とグループ内のメンバーを示したページが表示されます。次の図は、[Windows Server 2003] という動的サーバグループを選択したときに表示されるページを示しています。

デバイス > サーバ > Windows Server 2003

Windows Server 2003

概要 関係 詳細 パッチ

全般	
オブジェクトタイプ:	ダイナミックサーバグループ
GUID:	f50f6cd1358d6dc11ea4369aad5a7df7
説明: 編集	Windows Server 2003 Group

メンバー	
名前	フォルダ内
XXX	/デバイス/サーバ
zpms2k3ssp1	/デバイス/サーバ

1 - 2/2 5項目の表示

メンバー変更ログ		
日付	追加されました	は削除されました
15:17	1	0
0:00	1	0

1 - 2/2 5項目の表示

- 4 強制的なベースライン項目 (ベースラインに割り当てられたパッチ) を選択して、[アクション] メニューから [ベースラインから削除] オプションを選択します。
ベースラインからパッチが削除されます。

注: [ベースラインから削除] オプションは、パッチがベースラインに追加されている場合にのみ有効になります。

6.2.3 [更新キャッシュ] の使用

[アクション] メニューのオプション [更新キャッシュ] (75 ページの 6-2 を参照) を使用すると、選択したパッチに関連するバンドルのダウンロード処理を開始して ZENworks サーバにキャッシュします。

注: ターゲットデバイスにバンドルをインストールする前に、改善バンドルをキャッシュしておく必要があります。

パッチデータのキャッシュを更新するには、次の手順に従います。

- 1 [パッチ] リストで、1つまたは複数のパッチを選択します。
- 2 [アクション] メニューで [更新キャッシュ] をクリックします。

アイコンが に変わります。ダウンロード処理中、アイコンは に変わります。キャッシングが完了すると、パッチアイコンの色が緑に変わります。これで、パッチの改善は展開する用意ができていくことがわかります。

デバイスのパッチ管理

デバイスのパッチとは、選択したデバイス（サーバまたはワークステーション）に関連付けられているパッチを指します。特定のデバイスに対して一覧にされたパッチは、そのデバイスにのみ適用されるパッチです。次のセクションでは、Novell® ZENworks® 10 Patch Management のデバイスパッチ情報について説明します。

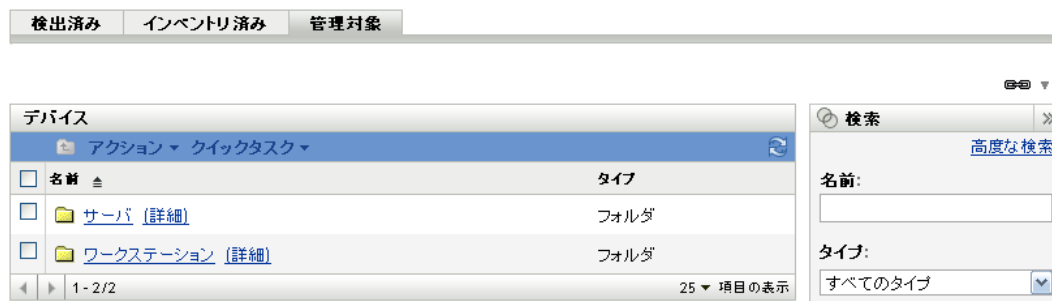
- 81 ページのセクション 7.1 「デバイスの [パッチ] タブへのアクセス」
- 84 ページのセクション 7.2 「デバイスの [パッチ] タブの使用」

7.1 デバイスの [パッチ] タブへのアクセス

特定のサーバデバイスに対するパッチを表示するには、次の手順に従います。

- 1 左パネルの [デバイス] タブをクリックします。

次の図に示すように、各デバイスタイプのルートフォルダが表示されたページが表示されます。



[サーバ] フォルダは、すべての管理対象サーバのルートフォルダであり、[ワークステーション] フォルダはすべての管理対象ワークステーションのルートフォルダです。





- 2 [サーバ] リンクをクリックします。

次の図に示すように、オペレーティングシステムに基づいて分類されたサーバグループのリストが表示されます。

デバイス > サーバ



[サーバ] ページに次のアイコンが表示されます。

アイコン	ステータス
	メッセージステータス：正常 デバイスステータス：バンドルとポリシーの実施が成功しました
	メッセージステータス：警告 デバイスステータス：バンドルとポリシーの実施が成功しました
	メッセージステータス：エラー デバイスステータス：バンドルとポリシーの実施が成功しました
	メッセージステータス：エラー デバイスステータス：1つまたは複数のバンドルまたはポリシーで、バンドルまたはポリシーあるいはその両方の実施が失敗しました。

デバイスは検索して見つけることもできます。次のフィルタを使用できます。

フィルタ項目	結果
名前	特定の名前のデバイスを検索します。
タイプ	特定のタイプのデバイスを検索します。
オペレーティングシステム	特定のオペレーティングシステムを実行しているデバイスを検索します。
メッセージステータス	特定のメッセージステータスを表示するデバイスを検索します。
コンプライアンスステータス	[はい] や [いいえ] など、コンプライアンスステータスに基づいてデバイスを検索します。
デバイスステータス	デバイスステータスに基づいてデバイスを検索します。
サブフォルダを含む	サブフォルダに対しても検索が実行されます。

- 3 必要なグループ ([サーバグループ] または [動的サーバグループ]) をクリックして、グループおよびグループメンバーの詳細を表示します。または、管理対象デバイスをクリックすることもできます。

次の図のような、管理対象デバイスまたはメンバーについての詳細を表示するページが表示されます。ここで、管理対象デバイスの名前 zpms2k3ssp1 は例です。管理対象デバイスの名前はネットワーク管理者が決定します。

デバイス > サーバ > zpms2k3ssp1

zpms2k3ssp1

概要	インベントリ	関係	設定	コンテンツ	統計情報	パッチ
全般						
エイリアス:	zpms2k3ssp1					
ホスト名:	linux-zcm					
IPアドレス:	192.168.8.208					
最終フルリフレッシュ:	16:05					
最近の連絡:	16:09					
ZENworks Configuration Managementバージョン:	10.3.0.0					
ZENworks Asset Managementバージョン:	10.3.0.53910					
ZENworksエージェントバージョン:	10.3.0.27529					
ZENworksエージェントステータス:						
オペレーティングシステム:	Novell SuSE Linux Enterprise Server 11					
未承認のエラーの数:	0					
未承認の警告の数:	0					
プライマリユーザ: (編集)	(保留中: システムは自動的にプライマリユーザを決定します)					
所有者: (編集)						
シリアル番号 (編集)	b09367dbd90fce9ab3653c8dc3e45d8f					
GUID:	b09367dbd90fce9ab3653c8dc3e45d8f					
部署: (編集)						
サイト: (編集)						
位置: (編集)						

- 4 [パッチ] タブをクリックして、サーバデバイスに関連付けられたパッチを表示します。

デバイス > サーバ > zpms2k3ssp1

zpms2k3ssp1

概要	インベントリ	関係	設定	コンテンツ	統計情報	パッチ
パッチ						
アクション						
<input type="checkbox"/>	パッチ名	影響	パッチ適用済み			
<input type="checkbox"/>	2006634 Microsoft Office Accounting 2009 Service Pack 3 (KB2006634)	重大	いいえ			
<input type="checkbox"/>	890830 Windows Malicious Software Removal Tool - April 2010 (KB890830)	ソフトウェアインストーラ	いいえ			
<input type="checkbox"/>	890830 Windows Malicious Software Removal Tool - April 2010 (KB890830) - IE Version	ソフトウェアインストーラ	いいえ			
<input type="checkbox"/>	907747 Update for Intelligent Message Filter for Exchange Server 2003: 2010.02.08 (KB907747)	推奨	いいえ			
<input type="checkbox"/>	955706 Microsoft SQL Server 2005 Express Edition Service Pack 3 (KB955706)	重大	いいえ			
<input type="checkbox"/>	972076 Update Rollup 2 for Exchange Server 2007 Service Pack 2 (KB972076)	重大	いいえ			
<input type="checkbox"/>	975355 Antigen Software Update KB975355	推奨	いいえ			
<input type="checkbox"/>	975612 Update for Office Communications Server 2007 R2, Response Group Service (KB 975612)	推奨	いいえ			

検索

パッチ名

ステータス

パッチ適用済み

パッチ未適用

適用なし

無効を含める

影響

重大

推奨

情報

ソフトウェアインストーラ

ペンダ [ALL](#)

キャッシュステータス [すべて](#)

7.2 デバイスの [パッチ] タブの使用

- ◆ 84 ページのセクション 7.2.1 「パッチ」
- ◆ 84 ページのセクション 7.2.2 「パッチ名」
- ◆ 85 ページのセクション 7.2.3 「利用可能なパッチの合計数」
- ◆ 85 ページのセクション 7.2.4 「パッチの影響」
- ◆ 86 ページのセクション 7.2.5 「パッチの統計情報」
- ◆ 86 ページのセクション 7.2.6 「[アクション] メニュー項目」
- ◆ 87 ページのセクション 7.2.7 「パッチの検索」
- ◆ 89 ページのセクション 7.2.8 「パッチ情報」
- ◆ 90 ページのセクション 7.2.9 「ワークステーションデバイスのパッチ」

7.2.1 パッチ

[パッチ] ページのこのセクションでは、パッチに関する次の情報が提供されます。

- ◆ パッチの名前
- ◆ 利用可能なパッチの合計数
- ◆ パッチの影響
- ◆ パッチの統計情報

このセクションには [アクション] メニューがあり、[改善の展開]、[有効]、[無効]、[今すぐスキャン]、[更新キャッシュ]、および [エクスポート] という、パッチに関連するアクションを実行できます。これらのアクションの詳細については、[86 ページのセクション 7.2.6 「\[アクション\] メニュー項目」](#) を参照してください。

[パッチ] セクションには「項目の表示」オプションもあり、このセクションに表示する項目の数を選択することができます。

図 7-1 [項目の表示] ドロップダウンリスト



7.2.2 パッチ名

一般的にパッチ名には、パッチのベンダーまたはメーカー、特定のアプリケーション、およびバージョン情報が含まれます。

次の図はパッチの名前の例を示しています。次のパッチ名で、Adobe はベンダ、Acrobat Reader はアプリケーション、6.0.6 はバージョン情報を示します。

図 7-2 パッチ名の例

Adobe Acrobat Reader 6.0.6 アップデート

7.2.3 利用可能なパッチの合計数

利用可能なパッチの合計数が表の左下角に表示されます。次の例では、979 のパッチを使用できます。

図 7-3 パッチの合計数

1 - 25 / 344

7.2.4 パッチの影響

パッチのリリース日および影響に基づいて、パッチは「重大」、「推奨」、「情報」、または「ソフトウェアインストーラ」に分類されます。

- ◆ **重大**：このタイプのパッチは Novell によって重大と判断されているため、できる限り早急にインストールしてください。最近のセキュリティアップデートのほとんどはこのカテゴリに分類されます。ZENworks サーバは、重大な影響を持つパッチを自動的にダウンロードして保存します。
- ◆ **推奨**：このパッチは、重大またはセキュリティ関連ではないものの、役立つものであり、コンピュータの良好な状態を保つために適用すべきと Novell によって判断されています。したがって、Novell ではこのカテゴリに分類されたパッチを適用することをお勧めします。
- ◆ **情報**：このタイプのパッチは、Novell によって情報と判断された状態を検出します。情報提供のパッチは情報のみに使用されます。インストールする実際のパッチはありません。
- ◆ **ソフトウェアインストーラ**：このタイプのパッチはソフトウェアアプリケーションです。通常、これらはインストーラを含みます。アプリケーションがマシンにインストールされていない場合には、パッチには [パッチ未適用] と表示されます。

パッチ管理では、パッチサブスクリプションの影響に関する用語は、パッチの重大度を示すためにベンダーが使用している影響に関する用語に厳密に従っています。各オペレーティングシステムにはベンダー固有の影響度評価があり、その影響度は、このセクションで説明している Novell の評価に対応しています。パッチ管理では、Lumension Security の勧告に従って、影響度評価の重大度を増加またはステップアップさせています。たとえば、Microsoft の分類で「重大」、「重要」、「中」とされているパッチは、Novell ではすべて「重大」に分類されます。

次の表は、Novell と Microsoft のパッチ分類用語の一覧について説明しています。

表 7-1 Novell と Microsoft のパッチ影響度の対応

Novell パッチ影響度	Windows	その他
重大	重大なセキュリティ	NA
	重要	
	中程度	

Novell パッチ影響度	Windows	その他
推奨	推奨 低い 例：Microsoft Outlook 2003 迷惑メール フィルタ更新	NA
ソフトウェアイン ストーラ	ソフトウェア配布 例：Microsoft Windows 悪意のあるソフ トウェア削除ツール (ウイルス削除)	Adobe 8.1 ソフトウェアインストーラ
情報	NA	NA

ソース :Lumension Security

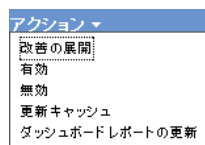
7.2.5 パッチの統計情報

パッチの統計情報には、特定のパッチと選択したデバイスの関係が表示されます。パッチ統計情報は [パッチ] ページの右端にある [パッチ適用済み] カラムに表示されます。このカラムは、選択したデバイスにパッチが正常に適用されているかどうかを示します。このカラムは、デバイスにパッチが適用されている場合は [はい]、デバイスにパッチが適用されていない場合は [いいえ] になります。

7.2.6 [アクション] メニュー項目

選択したデバイスの [パッチ] ページの [アクション] メニューは、次の6つのオプションで構成されます。

図 7-4 アクションメニュー



- ◆ **改善の展開**：パッチを展開することができます。このオプションを使用するには、展開するパッチのチェックボックスをオンにして、[改善の展開] を選択し、[改善の展開] ウィザードを開きます。
- ◆ **有効**：無効になっているパッチを有効にすることができます。このオプションを使用するには、[アクション] メニューから選択します。
- ◆ **無効**：パッチを無効にすることができます。このオプションを使用するには、必要なパッチのチェックボックスをオンにして [無効] を選択します。選択したパッチがリストから削除されます。



注：パッチを無効にすると、関連付けられているバンドルもすべて無効になります。

- ◆ **更新キャッシュ**：選択したパッチに関連するバンドルのダウンロード処理を開始して、それらのバンドルを ZENworks サーバにキャッシュします。

注: ターゲットデバイスにバンドルをインストールする前に、改善バンドルをキャッシュしておく必要があります。

このオプションを使用する

1. [パッチ] リストから 1 つまたは複数のパッチを選択します。
2. [アクション] メニューで [更新キャッシュ] をクリックします。

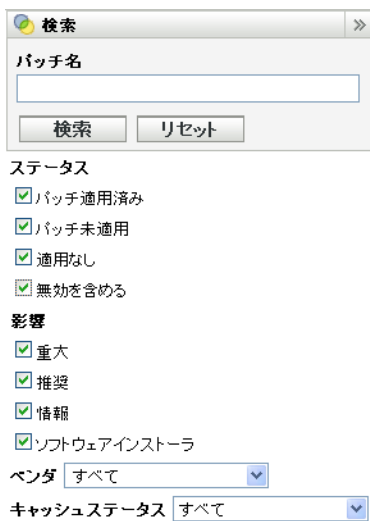
パッチアイコンが  に変わります。ダウンロード処理中、アイコンは  に変わります。キャッシングが完了すると、パッチアイコンの色が緑に変わります。これで、パッチの改善は展開する用意ができています。

- ◆ **エクスポート:** すべてのパッチのステータスや影響などの詳細をカンマ区切り値 (CSV) ファイルにエクスポートできます。ファイルをダウンロードオプションから開いて、別のファイル形式でファイルを保存するよう選択することができます。

7.2.7 パッチの検索

[パッチ] ページの [検索] セクションには、広範な検索およびデータフィルタリングオプションが用意されており、特定のパッチを検索して、パッチの「ステータス」や「影響」に基づいて結果セットをフィルタすることができます。検索とフィルタリングはそれぞれ独立して実行することもできますが、組み合わせて拡張ドリルダウン機能を実行することもできます。次の図は、[パッチの検索] セクションを示しています。

図 7-5 [パッチ] ページの [検索] セクション



The screenshot shows a search interface with the following elements:

- 検索** (Search) button and **リセット** (Reset) button.
- パッチ名** (Patch Name) text input field.
- ステータス** (Status) section with checked checkboxes: パッチ適用済み (Patch Applied), パッチ未適用 (Patch Not Applied), 適用なし (Not Applied), 無効を含める (Include Inactive).
- 影響** (Impact) section with checked checkboxes: 重大 (Critical), 推奨 (Recommended), 情報 (Information), ソフトウェアインストーラ (Software Installer).
- ベンダ** (Vendor) dropdown menu set to **すべて** (All).
- キャッシュステータス** (Cache Status) dropdown menu set to **すべて** (All).

パッチを検索するには、次の手順に従います。

- 1 [パッチ名] テキストボックスにパッチ名のすべてまたは一部を入力します。
- 2 [ステータス] または [影響] の下にある目的のチェックボックスをオンにします。
- 3 [ベンダ] ドロップダウンリストで、ベンダを選択します。
- 4 [キャッシュステータス] ドロップダウンリストでキャッシュステータスを選択します。
- 5 [検索] をクリックします。

[リセット] をクリックすると、デフォルト設定に戻すことができます。

次の表は、[ステータス] の下にある各フィルタオプションを選択した結果について説明しています。

表 7-2 [検索] の「ステータス」フィルタ

「ステータス」フィルタ	結果
パッチ適用済み	検索結果のパッチリストには、1つまたは複数のデバイスに適用されているすべてのパッチが含まれます。
パッチなし	検索結果のパッチリストには、どのデバイスにも適用されていないすべてのパッチが含まれます。
適用なし	検索結果のパッチリストには、デバイスに適用されないすべてのパッチが含まれます。
無効を含める	検索結果のパッチリストには、管理者によって無効にされているすべてのパッチが含まれます。

次の表は、[影響] の下にある各フィルタオプションを選択した結果について説明しています。

表 7-3 [検索] の「影響」フィルタ

影響フィルタ	結果
重大	検索結果のパッチリストには、Novell によって「重大」と分類されたすべてのパッチが含まれます。
推奨	検索結果のパッチリストには、Novell によって「推奨」と分類されたすべてのパッチが含まれます。
情報	検索結果のパッチリストには、Novell によって「情報」と分類されたすべてのパッチが含まれます。
ソフトウェアインストーラ	検索結果のパッチリストには、Novell によって「ソフトウェアインストーラ」と分類されたすべてのパッチが含まれます。

表 7-4 検索でのベンダフィルタと、キャッシュステータスフィルタ

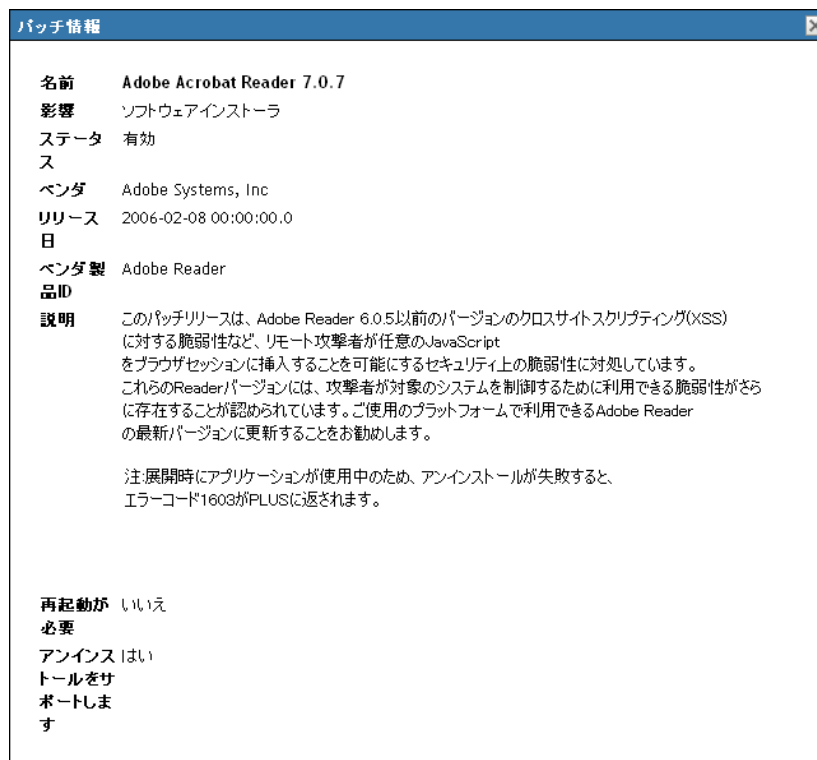
フィルタ	結果
ベンダ名	検索結果には、ベンダーに関連したすべてのパッチが含まれます。
キャッシュステータス	検索結果には、キャッシュに入れられた、またはローカルサーバのキャッシュに入れられていないすべてのパッチが含まれます。

7.2.8 パッチ情報

選択したパッチの詳細情報は、[パッチ情報] セクションで参照することができます。パッチの名前をクリックすると、そのパッチの詳細が表示されます。

たとえば、パッチリストから [Adobe Acrobat Reader 6.0.6 Update] というパッチを選択した場合、[パッチ情報] セクションには、次の図に示すように、選択したパッチのパッチ分析結果が表示されます。

図 7-6 選択したパッチのパッチ情報



次の表は、[パッチ情報] セクションの各プロパティ名を定義しています。

表 7-5 [パッチ情報] セクション内のプロパティ名

プロパティ名	定義
名前	パッチの名前。
影響	Novell が判断したパッチの影響度。詳細については、 85 ページのセクション 7.2.4 「パッチの影響」 を参照してください。
ステータス	パッチのステータスで、[有効]、[無効 (置き換え済み)]、[無効 (ユーザ別)] があります。
ベンダ名	ベンダーまたはメーカーの名前。
リリース日	パッチがリリースされた日付。
ベンダ製品 ID	ベンダーが製品に割り当てた ID 番号。

プロパティ名	定義
説明	パッチの説明。パッチの展開の利点と展開の事前必要条件を含みます。
再起動が必要	パッチ展開の後、再起動が必要かどうかを示します。
アンインストールをサポート	パッチがアンインストールをサポートするかどうか。

7.2.9 ワークステーションデバイスのパッチ

特定のワークステーションデバイスに対するパッチを表示するには、次の手順に従います。

- 1 [デバイス] ページの [Workstation] リンクをクリックします。

次の図に示すように、オペレーティングシステムに基づいて分類されたワークステーショングループのリストが表示されます。

[デバイス](#) > ワークステーション

デバイス						
新規 ▾ 編集 ▾ 削除 アクション ▾ クイックタスク ▾						
<input type="checkbox"/>	ステータス	名前	タイプ	オペレーティングシステム	最近の連絡	使用停止
<input type="checkbox"/>		Windows 2000 Workstations	動的ワークステーショングループ			
<input type="checkbox"/>		Windows 7 Workstations	動的ワークステーショングループ			
<input type="checkbox"/>		Windows Vista Workstations	動的ワークステーショングループ			
<input type="checkbox"/>		Windows XP Workstations	動的ワークステーショングループ			
<input type="checkbox"/>		w2adxps3	ワークステーション	winxp-pro-sp3-x86		13:44

[ワークステーション] ページに次のアイコンが表示されます。

アイコン	ステータス
	メッセージステータス：正常 デバイスステータス：バンドルとポリシーの実施が成功しました
	メッセージステータス：警告 デバイスステータス：バンドルとポリシーの実施が成功しました
	メッセージステータス：エラー デバイスステータス：バンドルとポリシーの実施が成功しました
	メッセージステータス：エラー デバイスステータス：1つまたは複数のバンドルまたはポリシーで、バンドルまたはポリシーあるいはその両方の実施が失敗しました。

デバイスは検索を使用しても見つけることができます (82 ページの「フィルタ項目」のセクションを参照してください)。

- 2 必要なグループ ([ワークステーショングループ] または [動的ワークステーショングループ]) をクリックして、グループおよびそのメンバーの詳細を表示します。

3 必要なメンバーまたはワークステーションデバイスをクリックします。

メンバーの詳細を示したページが表示されます。次の図は、「w2adxpsp2」という名前のワークステーションデバイスの詳細が表示されたページを示しています。

デバイス > ワークステーション > w2adxpsp2

w2adxpsp2

概要 インベントリ 関係 設定 コンテンツ パッチ

全般	
エイリアス:	w2adxpsp2
ホスト名:	w2adxpsp2
IPアドレス:	192.168.3.100
最終フルリフレッシュ:	12:40
最近の連絡:	12:40
ZENworksエージェントバージョン:	10.3.0.27529
ZENworksエージェントステータス:	
オペレーティングシステム:	Microsoft Windows XP Professional 5.1.2600 Service Pack 2 Build 2600
未承認のエラーの数:	0
未承認の警告の数:	0
プライマリユーザ: [編集]	(保留中: システムは自動的にプライマリユーザを決定します)
所有者: [編集]	
シリアル番号 [編集]	d65e539de236b540839a95c1610678b1
GUID:	d65e539de236b540839a95c1610678b1
部署: [編集]	
サイト: [編集]	
位置: [編集]	

4 [パッチ] タブをクリックします。

次の図に示すように、ワークステーションデバイスに関連付けられているパッチが表示されます。

デバイス > サーバ > zpms2k3ssp1

zpms2k3ssp1

概要 インベントリ 関係 設定 コンテンツ 統計情報 パッチ

パッチ

アクション	パッチ名	影響	パッチ適用済み
<input type="checkbox"/>	2006634 Microsoft Office Accounting 2009 Service Pack 3 (KB2006634)	重大	いいえ
<input type="checkbox"/>	890830 Windows Malicious Software Removal Tool - April 2010 (KB890830)	ソフトウェアインストーラ	いいえ
<input type="checkbox"/>	890830 Windows Malicious Software Removal Tool - April 2010 (KB890830) - IE Version	ソフトウェアインストーラ	いいえ
<input type="checkbox"/>	907747 Update for Intelligent Message Filter for Exchange Server 2003: 2010.02.08 (KB907747)	推奨	いいえ
<input type="checkbox"/>	955706 Microsoft SQL Server 2005 Express Edition Service Pack 3 (KB955706)	重大	いいえ
<input type="checkbox"/>	972076 Update Rollup 2 for Exchange Server 2007 Service Pack 2 (KB972076)	重大	いいえ
<input type="checkbox"/>	975355 Antigen Software Update KB975355	推奨	いいえ
<input type="checkbox"/>	975612 Update for Office Communications Server 2007 R2, Response Group Service (KB 975612)	推奨	いいえ

検索

パッチ名

検索 リセット

ステータス

パッチ適用済み

パッチ未適用

適用なし

無効を含める

影響

重大

推奨

情報

ソフトウェアインストーラ

ペンダ ALL

キャッシュステータス すべて

デバイスグループのパッチ管理

デバイスグループのパッチは、ネットワーク内のデバイスグループ（サーバグループまたはワークステーショングループのいずれか）のメンバーに割り当てられているパッチを指し、各デバイスのパッチのステータスを示します。このビューは、選択したグループのメンバーデバイスに該当するパッチのみを表示します。

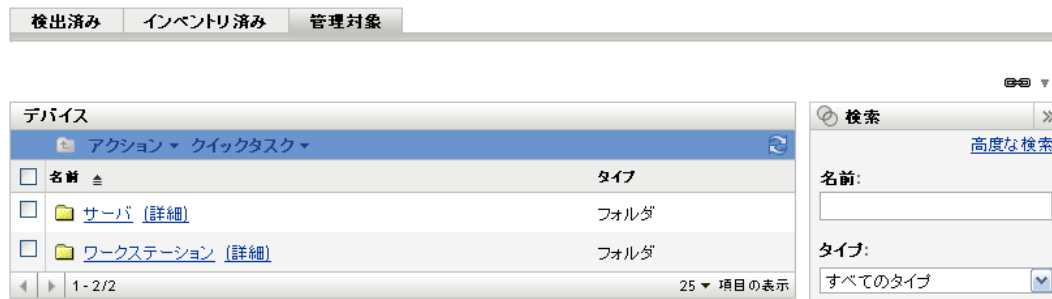
- ◆ 93 ページのセクション 8.1 「サーバグループ内での [パッチ] タブの使用」
- ◆ 95 ページのセクション 8.2 「ワークステーショングループ内での [パッチ] タブの使用」

8.1 サーバグループ内での [パッチ] タブの使用

このビューは、選択したサーバグループのメンバーデバイスに該当するパッチを表示します。

- 1 左パネルの [デバイス] タブをクリックします。

次の図に示すように、各デバイスタイプのルートフォルダが表示されたページが表示されます。



[サーバ] フォルダはすべての管理対象サーバのルートフォルダであり、[ワークステーション] フォルダはネットワーク内のすべての管理対象ワークステーションのルートフォルダです。

- 2 [サーバ] リンクをクリックします。

次の図に示すように、オペレーティングシステムに基づいて分類されたサーバグループのリストが表示されます。

[デバイス](#) > [サーバ](#)

デバイス					
新規 ▾ 編集 ▾ 削除 アクション ▾ クイックタスク ▾					
ステータス	名前 ▲	タイプ	オペレーティングシステム	最近の連絡	使用停止
<input type="checkbox"/>	 Windows 2000 Servers	ダイナミックサーバグループ			
<input type="checkbox"/>	 Windows Server 2003	ダイナミックサーバグループ			
<input type="checkbox"/>	 Windows Server 2008	ダイナミックサーバグループ			
<input type="checkbox"/>	 Windows Server 2008 R2	ダイナミックサーバグループ			
<input type="checkbox"/>	 linux-zcm	サーバ	sles-11-i586		15:51

1 - 5/5 25 ▾ 項目の表示

- 3 必要なグループ (サーバグループまたは動的サーバグループ) をクリックします。グループの一般的な詳細とグループ内のメンバーを示したページが表示されます。[Windows Server 2003] タイプを選択した場合、次の図に示すページが表示されます。

[デバイス](#) > [サーバ](#) > [Windows Server 2003](#)

Windows Server 2003			
概要	関係	詳細	パッチ
全般			
オブジェクトタイプ:	ダイナミックサーバグループ		
GUID:	f50f6cd1358d6dc11ea4369aad5a7df7		
説明: [編集]	Windows Server 2003 Group		
メンバー			
名前	フォルダ内		
 xxx	/デバイス/サーバ		
 zpm52k3ssp1	/デバイス/サーバ		
1 - 2/2 5 ▾ 項目の表示			
メンバー変更ログ			
日時	追加されました	は削除されました	
15:17	1	0	
0:00	1	0	
1 - 2/2 5 ▾ 項目の表示			

- 4 [パッチ] タブをクリックします。

選択したグループのメンバーデバイスに該当するパッチが表示されます。選択したグループが [Windows Server 2003] の場合、次の図に示すように、[パッチ] タブには [Windows Server 2003] 内のメンバーデバイスに該当するすべてのパッチが表示されます。



選択したサーバグループの [デバイスグループパッチ] ページの機能の情報については、71 ページの「強制的なベースラインについて」を参照してください。

8.2 ワークステーショングループ内での [パッチ] タブの使用

このビューは、選択したワークステーショングループのメンバーデバイスに該当するパッチを表示します。

- 1 左パネルの [デバイス] タブをクリックします。
各デバイスタイプのルートフォルダが表示されたページが表示されます。
- 2 [Workstations] リンクをクリックします。

次の図に示すように、オペレーティングシステムに基づいて分類されたワークステーショングループのリストが表示されます。

[デバイス](#) > [ワークステーション](#)

デバイス					
新規 ▾ 編集 ▾ 削除 アクション ▾ クイックタスク					
<input type="checkbox"/>	ステータス	名前 ▲	タイプ	オペレーティングシステム	最近の連絡 使用停止
<input type="checkbox"/>		Windows 2000 Workstations	動的ワークステーショングループ		
<input type="checkbox"/>		Windows 7 Workstations	動的ワークステーショングループ		
<input type="checkbox"/>		Windows Vista Workstations	動的ワークステーショングループ		
<input type="checkbox"/>		Windows XP Workstations	動的ワークステーショングループ		
<input type="checkbox"/>		w2adxpsp3	ワークステーション	winxp-pro-sp3-x86	13:44

1 - 5/5 25 ▼ 項目の表示

- 必要なグループ (ワークステーショングループまたは動的ワークステーショングループ) をクリックします。

グループの一般的な詳細とグループ内のメンバーを示したページが表示されます。次の図は、[*Windows XP ワークステーション*] という動的ワークステーショングループを選択したときに表示されるページを示しています。

[デバイス](#) > [ワークステーション](#) > [Windows XP Workstations](#)

Windows XP Workstations							
概要	関係						
<p>全般</p> <p>オブジェクトタイプ: 動的ワークステーショングループ</p> <p>GUID: 6acfd953592c3fe1bcb4470a9a1b03e0</p> <p>説明: [編集] Windows XP Workstation Group</p>							
<p>メンバー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名前</th> <th>フォルダ内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> xp-p-sp3-001</td> <td>/デバイス/ワークステーション</td> </tr> <tr> <td> w2adxpsp2</td> <td>/デバイス/ワークステーション</td> </tr> </tbody> </table>		名前	フォルダ内	xp-p-sp3-001	/デバイス/ワークステーション	w2adxpsp2	/デバイス/ワークステーション
名前	フォルダ内						
xp-p-sp3-001	/デバイス/ワークステーション						
w2adxpsp2	/デバイス/ワークステーション						

1 - 2/2 5 ▼ 項目の表示

4 [パッチ] タブをクリックします。

選択したグループのメンバーデバイスに該当するパッチが表示されます。選択したグループが Windows XP ワークステーションの場合、次の図に示すように、[パッチ] タブには Windows XP ワークステーショングループ内のメンバーデバイスに該当するすべてのパッチが表示されます。

デバイス > ワークステーション > Windows XP Workstations

Windows XP Workstations

概要 関係 詳細 **パッチ**

パッチ

アクション	パッチ名	影響	パッチ適用済み	パッチ未適用
<input type="checkbox"/>	Adobe APSB10-06 AIR 1.5.3.9130 for Windows (Update) (All Languages)	重大	0	1
<input type="checkbox"/>	Microsoft .NET Framework 1.1 SP1 (Rev 2)	重大	0	1
<input type="checkbox"/>	Microsoft .NET Framework 2.0 SP1 (See Notes) (Rev 3)	重大	0	3
<input type="checkbox"/>	Microsoft .NET Framework 2.0 SP2 (All Language)	重大	0	3
<input type="checkbox"/>	Microsoft (French) .NET Framework 1.1 SP1	重大	0	1
<input type="checkbox"/>	MPSB05-07 Flash Player 7 Improper Memory Access Vulnerability for IE (Rev 2)	重大	0	2
<input type="checkbox"/>	MS 936929 (French) Window XP Service Pack 3 (SEE NOTES)	重大	0	3
<input type="checkbox"/>	MS 936929 (German) Window XP Service Pack 3 (SEE NOTES)	重大	0	1
<input type="checkbox"/>	MS 936929 (Portuguese-PTB) Window XP Service Pack 3 (SEE NOTES)	重大	0	1
<input type="checkbox"/>	MS 942288 Windows Installer 4.5 (All Languages)	重大	0	10
<input type="checkbox"/>	MS 951847 959209 Microsoft .NET Framework 3.5 Family Update (All Languages)	重大	0	3
<input type="checkbox"/>	MS 953252 (Chinese-CHS) Prerequisites To Disable Automatic Capabilities in Windows (See Notes)	重大	0	1

検索

パッチ名

検索 リセット

ステータス

パッチ適用済み

パッチ未適用

適用なし

無効を含める

影響

重大

推奨

情報

ソフトウェアインストール

ペンダ ALL

キャッシュステータス すべて

強制的なベースライン

すべてのパッチ

ベースラインのみ

選択したワークステーショングループの [デバイスグループパッチ] ページの機能の情報については、71 ページの「強制的なベースラインについて」を参照してください。

パッチ管理のトラブルシューティング

A

次の各セクションでは、Novell® ZENworks® 10 Patch Management の使用時に表示される可能性があるエラーメッセージや、発生する可能性がある問題について詳しく説明します。

- ◆ 99 ページのセクション A.1 「パッチ管理の問題」
- ◆ 103 ページのセクション A.2 「設定の問題」

A.1 パッチ管理の問題

- ◆ 99 ページの「ZENworks Patch Management 向けの Akamai への CDN スイッチのため、パッチが使用できない」
- ◆ 101 ページの「[パッチ] タブにパッチが表示されない」
- ◆ 101 ページの「パッチがターゲットデバイスに展開されていないように見える」
- ◆ 101 ページの「[再起動が必要] ダイアログボックスで [キャンセル] ボタンが表示されない」
- ◆ 102 ページの「優先パッチが「適用なし」と表示される」
- ◆ 102 ページの「スケジュールした時間にパッチの展開が開始されない場合がある」
- ◆ 102 ページの「一部のパッチ用に MSI (Microsoft System Installer) をアップデートする必要がある」

ZENworks Patch Management 向けの Akamai への CDN スイッチのため、パッチが使用できない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、パッチ管理

説明：2008 年 2 月 18 日の週、ZENworks 10 Patch Management が使用するパッチコンテンツ Web サイトのホスティングインフラストラクチャが、Akamai* へ新規ホストプロバイダとして移行されました。この切り替えは、グローバル DNS 変更によって実施されました。

アクション：次の手順に従います。

- 1 次の Web サイトへのアクセスを開きます。
 - ◆ PLHOST ライセンスサーバ (<https://novell.patchlink.com>)
 - ◆ Akamai パッチダウンロード (<http://novell.cdn.lumension.com>)
 - ◆ Microsoft パッチ Web サイト (<http://www.download.windowsupdate.com>)
- 2 [環境設定] ページで [SSL Download(SSL のダウンロード)] をオフにします (22 ページの「サブスクリプションダウンロード詳細の設定」を参照してください)。

3 現在パッチ管理機能を実行している ZENworks プライマリサーバから、新規ホストプロバイダへの接続をテストします。

◆ ping テスト :

サーバコンソールにログインし、コマンドプロンプトまたはシェルウィンドウを起動します。

```
ping novell.cdn.lumension.com
```

サーバで Akamai ホスティングネットワークに正常に接続できる場合は、次に示すものと同様の応答が返されます。

```
Pinging a1533.g.akamai.net [12.37.74.25] with 32 bytes of data:
```

```
Reply from 12.37.74.25: bytes=32 time=14ms TTL=55
```

```
Reply from 12.37.74.25: bytes=32 time=14ms TTL=55
```

```
Reply from 12.37.74.25: bytes=32 time=14ms TTL=55
```

```
Reply from 12.37.74.25: bytes=32 time=13ms TTL=55
```

```
Ping statistics for 12.37.74.25:
```

```
Packets: Sent=4, Received=4, Lost=0 (0% loss),
```

```
Approximate round trip times in milli-seconds:
```

```
Minimum = 13ms, Maximum = 14ms, Average = 13ms
```

ping コマンドは、現在の場所に最も近い Akamai サーバのアドレスを示します。

次のメッセージを受信した場合 :

```
Ping request could not find host
```

```
novell.cdn.lumension.com. Please check the name and try again.
```

ファイアウォール管理者は、ping と HTTP(TCP ポート 80) トラフィックの両方について Akamai ネットワークへのアクセスを開く必要があります。

◆ ブラウザテスト :

Web ブラウザを使用して、次の URL を入力します。

```
http://novell.cdn.lumension.com/novell/pulsar.xml
```

ブラウザは、下の図に示すように、Web サイトからのフォーマット済み出力を表示します。

```
- <sub>
- <os name="Windows">
- <arch name="x86">
- <lang name="English">
  <lst> windows/x86/en/applications.lst </lst>
  <lst> windows/x86/en/software.lst </lst>
  <lst ver="XP" spack="3"> windows/x86/en/xpsp3.lst </lst>
  <lst ver="XP" spack="2" legacy="Y"> windows/x86/en/xpsp2.lst </lst>
  <lst ver="XP" spack="1" legacy="Y"> windows/x86/en/xpsp1.lst </lst>
  <lst ver="2000" spack="4"> windows/x86/en/2ksp4.lst </lst>
  <lst ver="2000" spack="3" legacy="Y"> windows/x86/en/2ksp3.lst </lst>
  <lst ver="2003" spack="2"> windows/x86/en/2k3sp2.lst </lst>
  <lst ver="2003" spack="1" legacy="Y"> windows/x86/en/2k3sp1.lst </lst>
  <lst ver="2003" spack="0" legacy="Y"> windows/x86/en/2k3sp0.lst </lst>
  <lst ver="VISTA" spack="0" legacy="Y"> windows/x86/en/vistasp0.lst </lst>
  <lst ver="VISTA" spack="1"> windows/x86/en/vistasp1.lst </lst>
</lang>
```

ブラウザが XML ファイルにアクセスできない場合、ブラウザがタイムアウトし、特定のエラーメッセージが表示されます。ping テストが成功し、ブラウザテストが失敗した場合、これは、ファイアウォール管理者が Akamai ネットワークへの限定的なアクセスを認められているが、HTTP(TCP ポート 80) がブロックされていることを示します。

ライセンスサーバは、ZENworks Patch Management 6.4 と同じアドレスをまだ使用しています。シリアル番号を入力して Patch Management の使用を登録する場合、ファイアウォールルールに古いサーバの IP アドレスを残しておく必要があります。

- ◆ ZENworks 10 Configuration Management のファイアウォール情報：

ZENworks 10 Patch Management ライセンスレプリケーションは、次のサーバにアクセスします。

206.16.247.2

206.16.45.34

Port 443

ZENworks 10 Patch Management コンテンツレプリケーションは、次の DNS 名にアクセスします。

<http://novell.cdn.lumension.com/novell>

特定のサーバが使用している IP を判定するには、複数のマシンから ping novell.cdn.lumension.com を実行し、該当するアドレス範囲をファイアウォールルールに入力します。

[パッチ] タブにパッチが表示されない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、パッチ管理

考えられる原因：サーバがインストールされたばかりです。

アクション：パッチサブスクリプションダウンロードを開始して、パッチが novell.patchlink.com から自動的にダウンロードされるまで、20 分以上待機する必要があります。

パッチがターゲットデバイスに展開されていないように見える

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、パッチ管理

考えられる原因：ZENworks 管理者がパッチを ZENworks サーバの該当するデバイスに展開していない、またはパッチがサーバに展開されているが、デバイス更新スケジュールが ZENworks Adaptive Agent でトリガされていません。

アクション：[環境設定] タブで [デバイスの更新スケジュール] オプションが [手動の更新] または [スケジュールされた更新] に設定されていることを確認して、指定された時間、待機します。

[再起動が必要] ダイアログボックスで [キャンセル] ボタンが表示されない

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、パッチ管理

説明： 複数のパッチを展開するときに、サーバの [Pre Install Notification Options(インストール前の通知オプション)] ページと [Notification and Reboot Options(通知および再起動オプション)] ページで [ユーザーによるキャンセルを許可します] オプションが [いいえ] に設定されている場合、エージェントのすべてのパッチの [再起動が必要] ダイアログボックスで、[キャンセル] ボタンは表示されません。

アクション： 不要。

優先パッチが「適用なし」と表示される

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、パッチ管理

説明： パッチ管理の以前のリリースでは、パッチが新しいか古いかに関係なく、パッチのステータスは「パッチ適用済み」または「パッチなし」と表示されていました。このため、指定したターゲットデバイスへの展開に実際に必要であっても、それよりも多くのパッチが「パッチなし」と表示されることがよくあります。この問題は、ZENworks 10 Configuration Management SP3 で提供されている多くの新しい詳細コンテンツパッチで解決されています。

- ◆ パッチが置き換えられると、自動的に無効になります。
- ◆ パッチが再び有効にされて検出されると、ほとんどの場合、最新のパッチによって置換されているため、パッチのステータスは「適用なし」と表示されます。

これは旧バージョンのパッチ管理の動作とは一貫していませんが、各デバイスで現在インストールする必要のあるパッチだけが報告または分析されるので、この変更は改善といえます。

アクション： 不要。

スケジュールした時間にパッチの展開が開始されない場合がある

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、パッチ管理

考えられる原因： 展開スケジュールのタイプに、[繰り返し] オプションと [デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する] オプションの両方が含まれている場合、デバイスがアクティブになっても、スケジュールされている最初の繰り返し日にパッチの展開が開始されません。ただし、パッチは次の繰り返し日が発生したときに展開されます。

アクション： 繰り返しスケジュールを選択する代わりに、日付に固有のスケジュールを選択して、デバイスがアクティブになったときにパッチが適用されるようにします。

一部のパッチ用に MSI (Microsoft System Installer) をアップデートする必要がある

ソース： ZENworks 10 Configuration Management、パッチ管理

説明： 特定の .NET パッチを展開するには最新の MSI をインストールしなければならない場合があります。そうしないと、これらのパッチの展開時にエラーが発生する可能性があります。

アクション: .NET パッチを展開する前に、MSI のあるバージョンが前提条件になっているかどうかを検証してください。必要な場合は、システムに最新の MSI (バージョン 3.1 以降) を展開するためのバンドルを作成します。MSI は [Microsoft \(http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=889482fc-5f56-4a38-b838-de776fd4138c&displaylang=en\)](http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=889482fc-5f56-4a38-b838-de776fd4138c&displaylang=en) から入手できます。

A.2 設定の問題

- 103 ページの「自動再起動を行うパッチの展開で、デバイスがシャットダウンされる」

自動再起動を行うパッチの展開で、デバイスがシャットダウンされる

ソース: ZENworks 10 Configuration Management、パッチ管理

考えられる原因: 自動再起動を行うパッチ展開を試行すると、マシンが再起動ではなくシャットダウンされることがあります。パッチ結果を ZENworks サーバにレポートできないこともあります。

アクション: [自動再起動] オプションを使用せず、[クイックタスク] で再起動を実行します。

マニュアルの更新

このセクションでは、『ZENworks Patch Management リファレンス』(Novell® Zenworks® 10 Configuration Management SP3 向け)に行われた文書内容の変更に関する情報を提供します。ドキュメントの最新の更新情報をここで入手できます。

この製品のドキュメントは、HTML および PDF の 2 つの形式で Web にて提供されています。HTML および PDF ドキュメントにはこのセクションに一覧表示された変更が反映され、最新の状態に保たれています。

使用している PDF ドキュメントが最新のものであるかどうかを知る必要がある場合、PDF ドキュメントの表紙の発行日を参照してください。

このドキュメントは次の日付に更新されました。

- ◆ 105 ページのセクション B.1 「2010 年 3 月 30 日 : SP3 (10.3)」

B.1 2010 年 3 月 30 日 : SP3 (10.3)

次のセクションが更新されました。

ディレクトリ	Update
17 ページのセクション 3.1 「サブスクリプション サービス情報の表示」	<ul style="list-style-type: none"> ◆ グラフィックを更新して、パッチ管理に [強制的なベースライン] 設定を表示しました。 ◆ サブスクリプションサービス情報のグラフィックを更新しました。 ◆ [サブスクリプションサービス情報] ステータス項目の表にエントリを追加しました。
22 ページのセクション 3.3 「サブスクリプション ダウンロード詳細の設定」	[サブスクリプションダウンロードオプション] ページのグラフィックを更新しました。
25 ページのセクション 3.4 「強制的なベースライン設定の設定」	[強制的なベースライン設定] のセクションを追加しました。
36 ページのセクション 4.4.1 「パッチ」	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「パッチの統計情報」セクションにパッチのアンインストールのサポートに関するコンテンツを追加しました。 ◆ 「パッチの統計情報」に、[パッチ適用済み]、[パッチ未適用]、[情報] ページのグラフィックと説明を追加しました。
50 ページのセクション 5.2 「デバイスの確認」	インターフェースの変更のため、グラフィックとセクションのコンテンツを変更しました。
54 ページのセクション 5.4 「改善スケジュール」	[イベントスケジュール] オプションを [今すぐ] に置き換えました。
55 ページのセクション 5.4.1 「修正スケジュール: 今すぐ」	「修正スケジュール: イベント」を新しいセクション「修正スケジュール: 今すぐ」に置き換えました。

ディレクトリ	Update
67 ページのセクション 5.9 「通知および再起動オプション」	グラフィックを更新しました。
65 ページのセクション 5.8 「インストール前の通知オプション」	グラフィックを更新して、インストール前の通知オプションを示し、変数を説明する箇条書きとシステム変数表エントリを追加しました。
